

会 告 目 次

研究発表会開催通知	2
第 100 回ソフトウェア工学研究会	2
第 56 回ヒューマンインタフェース研究会	3
第 18 回情報メディア研究会	3
第 34 回情報学基礎研究会	3
第 103 回自然言語処理研究会	4
第 23 回人文科学とコンピュータ研究会	4
第 77 回記号処理研究会	5
第 66 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会	5
第 90 回コンピュータビジョン研究会	5
第 41 回アルゴリズム研究会	6
「研究グループ」について	9
情報処理学会論文誌「グループウェア」特集号への論文投稿のご案内	9
研究発表会開催予定	10
研究会参加・発表申込方法・研究報告について	12
研究会発表申込書	13
平成 6 年度各種行事の予定について	14
第 49 回全国大会（平成 6 年後期）概要について	15
第 50 回全国大会（平成 7 年前期）の開催について	15
情報処理学会「行事」・「書籍」申込書	16
ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための最新情報テクノロジーの理論と実践	17
「変革期のソフトウェア工学」シンポジウムの開催について	18
「グラフィクスと CAD」シンポジウム開催について	19
「情報処理学会第 100 回データベースシステム研究会記念合同研究会併設セミナー」開催について	21
「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」開催について	22
CALL FOR PARTICIPATION テストシステムに関する第 7 回国際ワークショップ	23
「1995 情報学シンポジウム」論文募集	24
第 26 回人工知能セミナー「AI を用いたリエンジニアリングの実際」	25
「若手のための PRU & CV ワークショップ」参加募集 発表募集	26
第 6 回人間とコンピュータの関わり合いに関する国際会議論文募集のお知らせ	27
日本学術会議だより	28
本会協賛等の行事案内	30
雑 報	31
学協会集会スケジュール	31
論文誌のご購読について	32
学会事務局（本部）の移転について	33
書評・ニュース募集のお知らせ	34
有料会告について	35
支部だより	36
教 官 募 集	37
会 議 案 内	40
編 集 室	41
平成 6 年度役員	42

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成6年8月15日～9月30日)

研 究 会 名	日 時		会 場	詳細
グラフィクスとCAD	8月18日(木) 8月19日(金)	13:15～17:00 9:30～16:00	スズキ荘観月園 (浜松)	前号 7頁
ソフトウェア工学	9月8日(木)	9:00～18:00	機械振興会館	本号 2頁
ヒューマンインタフェース	9月8日(木)	10:15～17:20	同上	3頁
情報メディア	9月9日(金)	10:00～17:00	京都工繊大	3頁
情報学基礎	9月14日(水)	10:30～16:00	情報処理学会(芝浦)	3頁
自然言語処理	9月15日(木) 9月16日(金)	9:45～15:45 9:45～15:45	東京女子大	4頁
人文科学とコンピュータ	9月16日(金)	10:00～17:20	東北工大	4頁
記号処理	9月16日(金)	11:00～17:00	津田塾大	5頁
システムソフトウェアとオペレーティング・システム	9月16日(金)	13:30～17:00	情報処理学会(芝浦)	5頁
コンピュータビジョン	9月20日(火)	10:20～16:10	群馬大	5頁
アルゴリズム	9月21日(水)	9:00～18:00	群馬大学セミナーハウス (草津)	6頁

◆第100回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数:10件(7月11日現在))

(主査:磯田定宏, 幹事:青山幹雄, 深澤良彰, 松村一夫)

日 時 平成6年9月8日(木) 9:00～18:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄:日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, またはJR:浜松町下車,
バス:渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車. Tel.(03)3434-8211]

議 題

- (1) 要求仕様データベースシステムの開発 大西 淳(立命館大)
- (2) 位相的観点からの仕様記述 安藤敏彦, 加藤 靖(仙台電波高専), 高橋 薫(AIC)
- (3) オーダメイド設計・プレハブ施工型システム構築ツール -SCAWデザインシリーズ-
板倉征男, 鈴木隆司, 鈴木 努(NTT データ)
- (4) モデルに基づくプラント制御ロジック生成支援システム 溝口祐美子, 岩政幹人, 月本 洋(東芝)
- (5) ファイル処理のモジュール設計の自動化システム -EOS/M - 西村淳一, 原田 実(青学大)
- (6) C言語プログラム検査ツールの実装と適用結果 青木圭子, 瀧塚孝志, 小花貞夫(KDD)
- (7) Verification Methodology for Rule Checking Expert System Issam A. Hamid(東北芸術工科大)
- (8) An Imperfect Debugging Model Based on the Number of Corrected Software Faults
得能貢一, 山田 茂(鳥取大)
- (9) メトリクスによる組み込み型ソフトウェア開発の評価
大西荘一(岡山理科大), 呉 旻炳, 富岡 学, 原田 等(同志社大)
- (10) 要求仕様の逆生成システム CORE -COBOL プログラムからの要求仕様の逆生成-
吉川彰一, 原田 実, 永井英一郎(青学大)

*今回の研究会は本研究会の第100回研究会です。翌日(9月9日)にはこれを記念して、記念シンポジウム「変革期のソフトウェア工学」が開催されますので併せてご参加ください。

*電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会, 知能ソフトウェア工学研究会)と共催。共催研究会への申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会学会誌8月号をご覧ください。

◆第56回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数:10件)

(主査:安西祐一郎, 幹事:井関 治, 小川克彦, 来住伸子)

日 時 平成6年9月8日(木) 10:15~17:20
 会 場 機械振興会館 6階 67号室(所在地は前記参照)
 議 題 特集:福祉工学

- 10:15-12:00 -

- (1) 自発性瞬目の一次元拡散モデル 星野 聖(東京医科歯科大)
 (2) コミュニケーションエイドのための瞬きの検出
 加納尚之(米子高専), 井上倫夫, 小林康浩, 井上 晋(鳥取大), 井上公明(鳥取赤十字病院)
 (3) 事象関連電位(ERP)のコミュニケーションエイドへの適用について
 川上孝志(鳥取三洋電機), 井上倫夫, 小林康浩, 大石康正, 中島健二(鳥取大)

- 13:00-17:20 -

- (4) 発声訓練システムのための音声可視化手法の提案 長山 格, 赤松則男, 吉野敏樹(徳島大)
 (5) 胸骨舌骨筋の筋電位制御による電気人工喉頭の性能
 関 恵貞, 高橋 誠, 伊福部達(北大), 西澤伸志(美唄労災病院), 西澤典子, 犬山征夫(北大)
 (6) 胸骨舌骨筋の筋電位制御による電気人工喉頭のピッチ制御法
 関 恵貞, 高橋 誠, 伊福部達(北大), 西澤伸志(美唄労災病院), 西澤典子, 犬山征夫(北大)
 (7) 視覚障害者支援のためのネットワーク構築 高野雄二, 河原正治(筑波技術短大)
 (8) 日本語自動点訳ソフトウェアの開発について 河原正治(筑波技術短大)
 (9) MHアクチュエータを用いたコンプライアンス可変型アームのヒトとの接触動作の評価
 佐藤 満, 清水俊治, 井野秀一, 伊福部達(北大), 泉 隆(北海道東海大)
 室 正彦, 脇坂裕一(日本製鋼所)
 (10) 重度身体障害者による情報通信の利用 -1 接点入力によるネットワークへのアクセス-
 伊藤英一, 大橋正洋(神奈川県総合リハビリテーションセンター), 河野照之(ケイネット)

*電子情報通信学会(ヒューマンコミュニケーション研究会)と共催。

◆第18回 情報メディア研究会

(発表件数:6件)

(主査:田中 譲, 幹事:平山智史, 牧村信之, 森本秀之)

日 時 平成6年9月9日(金) 10:00~17:00
 会 場 京都工芸繊維大学 1号館 第53講義室

[京都市左京区松ヶ崎御所海道町, JR:京都下車, 地下鉄:北大路下車, バス(204系統東山通り・高野・銀閣寺行, 206系統東山通り京都駅行):高木町(10分)下車, 徒歩 5分. または, 地下鉄:北山下車, 徒歩20分. JR:京都下車, バス(14系統松ヶ崎行):工芸繊維大前下車(3本/1時間). Tel. (075)724-7479 (吉田研究室)]

議 題 小特集:メディアと記述言語

- 10:00-12:00 -

- (1) QOSを考慮したマルチメディアシナリオ記述言語 寺西裕一, 松浦敏雄, 下條真司, 谷口健一(阪大)
 (2) ビデオ画像に対する一連処理のステージパッドによるコーディネーション 伊藤真也, 田中 譲(北大)

- 13:00-17:00 -

- (3) 画像ダイナミックスのデザインと記述 佐藤啓一(京都工繊大)
 (4) 画面利用効率を考慮した小画面用GUIとその記述用スクリプト言語
 向井雅樹, 岡村和男, 大津隆史, 大戸英隆(松下電器)
 (5) SGMLをインフラとした情報通有の実現 吉岡 誠(富士通)
 (6) 情報ハイウエイ成らずして山河あり?:情報メディアー人間関係史から見たマルチメディアの行方
 吉田敦也(京都工繊大)

◆第34回 情報学基礎研究会

(発表件数:6件)

(主査:石塚英弘, 幹事:田村貴代子, 千村浩靖, 中川 優)

日 時 平成6年9月14日(水) 10:30~16:00
 会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7階, JR:田町(東口)下車, 徒歩 5分. または地下鉄(浅草線, 三田線):三田下車, 徒歩 7分. Tel. (03)5484-3535]

議 題 特集：マルチメディア文書処理・検索

－ 10:00-11:30 －

- (1) 解釈のシステムの基礎理論 古閑 政 (九州東海大)
 (2) グループ内共起関係を利用したキーワード間類似度計算法 新聞正史, 村岡洋一 (早大)

－ 12:30-16:00 －

- (3) 文の意味役割解析に基づく全文検索 三池誠司, 住田一男 (東芝)
 (4) LAN 上に分散配置する学術論文全文データベースシステム 阪口哲男, 杉本重雄, 田畑孝一 (情報大)
 (5) 図鑑の解説文から内容抽出を行うための専門知識の構築 渡辺靖彦, 長尾 真 (京大)
 (6) ハワイ・ボイス・ブラウザー マルチモーダル情報サービスシステムー 有田正剛, 西村健士, 島津秀夫 (NEC)

◆第103回 自然言語処理研究会

(発表件数:18件)

(主査：新田義彦, 幹事：丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成6年9月15日(木) 9:45~15:45

16日(金) 9:45~15:45

会 場 東京女子大学 文理学部 2号館 61番教室

[東京都杉並区善福寺 2-6-1, JR(中央線):西荻窪(北口)下車, 関東バス(吉祥寺駅行):女子大前下車。または
 JR(中央線):吉祥寺(東口)下車, 関東バス(西荻窪駅行):女子大前下車。Tel.(03)3395-1211(ext.339) 丸山]

議 題

9月15日(木)

－ 9:45-12:00 －

- (1) 日本語形態素解析における効率的な動詞活用処理 久光 徹, 新田義彦 (日立)
 (2) 日本語語構成文法ー形態素解析のモジュール化と標準化を目指してー 川田亮一 (EDR), 佐野 洋 (東芝)
 (3) マルコフモデルによる音節文ラティスからのキーワード候補の絞り込み 荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 四方啓智 (福井大)
 (4) 確率的制約にもとづく発話プランニング 乾健太郎, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大)

－ 13:00-15:45 －

- (5) 類似度テンプレートを利用した高速類似用例検索 宇津呂武仁 (奈良先端大)
 (6) 共起行列の固有ベクトルを用いる単語クラスタリング法 ー文書データベースの概要を表す単語クラスタの抽出ー 津田宏治, 仙田修司, 美濃導彦, 池田克夫 (京大)
 (7) 詩文鑑賞の手法に関する試論 (論理系解釈のシステムの応用) 古閑 政 (九州東海大)
 (8) 日本語マニュアル文におけるアスペクト辞の意味について 中川裕志, 森 辰則, 近藤靖司 (横浜国立大)
 (9) マニュアル文における条件表現の語用論 龍野弘幸, 森 辰則, 中川裕志 (横浜国立大)

9月16日(金)

－ 9:45-12:00 －

- (10) メッセージにおける送り手・受け手のユーザモデル抽出 今村賢治, 大山芳史 (NTT)
 (11) 自然言語対話における自己適応型インタフェース 宮部隆夫 (NEC)
 (12) キーリレーションに基づくテキスト検索 岡満美子, 宮内忠信, 上田良寛 (富士ゼロックス)
 (13) 言語部品表現を用いた推敲支援 上田良寛, 水梨 豪, 竹田幸史 (富士ゼロックス)

－ 13:00-15:45 －

- (14) 口語的表現を含む日本語文の形態素解析の実現と評価 竹元義美, 福島俊一 (NEC)
 (15) 表層的情報による日本語長文の骨格構造解析 兵藤安昭, 池田尚志 (岐阜大)
 (16) 日本語構文解析システム「KNP」のハングル化とそれを用いた日本語と韓国語の対照分析 黄 道三, 黒橋植夫, 長尾 真 (京大)
 (17) TSP0特徴を利用した中日機械翻訳 任 福継 (広島市立大)
 (18) 埋め込み機械翻訳方式による訳文生成法 畠中伸敏 (キャンノン)

◆第23回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数:9件)

(主査：及川昭文, 幹事：竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成6年9月16日(金) 10:00~17:20

会 場 東北工業大学 二つ沢キャンパス 1号館 4階 第1会議室

[仙台市太白区二つ沢 6番, JR:仙台下車, バス(11番乗場・愛宕大橋経由野草園行):野草園下車, 徒歩7分。
 Tel.(022)229-1151(ext.368)]

議 題

- 10:00-12:00 -

- (1) パーソナルコンピュータによる中期インド・アリアン聖典の計算機解析 逢坂雄美 (仙台電波高専)
 (2) オブジェクト指向設計によるチベット文字認識について 小島正美 (東北工大), 布宮千夏子 (山形県庁)
 川村隆庸 (日本IBM), 秋山庸子, 川添良幸 (東北大), 木村正行 (北陸先端大)
 (3) 漢字コードをめぐる諸概念について 當山日出夫 (花園大)

- 13:00-17:20 -

- (4) 4次元歴史空間システムの構成 加藤常員, 小沢一雅 (大阪電通大), 都出比呂志 (阪大)
 (5) 古代景観モデラー (ASM) 岡本 稔, 小沢一雅 (大阪電通大)
 (6) 美術作品の研究を支援するメディアハンドリングツールの構築について
 -美術作品の研究におけるマルチメディアの活用- 深井 純, 野田泰史, 平田 薫 (関西学院大)
 金西計英 (四国大), 山中 理 (白鶴美術館), 河田昌之 (和泉市久保惣記念美術館)
 (7) 美術作品の研究を支援するメディアハンドリングツールの構築について
 -メディアハンドリングツールの設計- 金西計英 (四国大), 深井 純, 野田泰史 (関西学院大)
 平田 薫 (関西学院大), 山中 理 (白鶴美術館), 河田昌之 (和泉市久保惣記念美術館)
 (8) マルチメディアと日本語教育 川添良幸, 才田いづみ (東北大)
 (9) 文科系学生対象の「基礎数学」科目へのコンピュータ利用 丹羽恵理子 (産能大)

◆第77回 記号処理研究会

(発表件数:5件)

(主査:小川貴英, 幹事:天海良治, 寺田 実, 湯浦克彦)

日 時 平成6年9月16日 (金) 11:00~17:00

会 場 津田塾大学 AV センター 2階 5206号教室

[東京都小平市津田町 2-1-1, JR:国分寺下車, 西武国分寺線:鷹の台下車, 徒歩 8分. Tel.(0423)42-5111]

議 題

- 11:00-11:50 -

- (1) フラグメントの部分間差分を用いた例からの LISP 関数の自動合成 山口文彦, 中西正和 (慶大)

- 13:00-17:00 -

- (2) call/cc を用いた繰返しの Scheme プログラムとCPS 変換 渡辺佳友, 伊藤貴康 (東北大)
 (3) Timed-GCを備えた Scheme 処理系と評価 浅井敏弘, 伊藤貴康 (東北大)
 (4) 印付けと回収と純計算を並列に実施するごみ集め 鈴木 貢, 寺島元章 (電通大)
 (5) 創発的計算のための言語 SOOC : その特徴と実装 金田 泰 (RWCP)

◆第66回 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

(発表件数:4件)

(主査:徳田英幸, 幹事:梅村恭司, 清木 康, 福田 晃)

日 時 平成6年9月16日 (金) 13:30~17:00

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議 題

- (1) アクセスパターンを考慮した分散共有メモリ上のデータのマッピング手法 李 曉傑, 原田賢一 (慶大)
 (2) RAID型ファイルシステムVAFS/HRの開発 山下洋史, 高橋英男, 畠山 敦 (日立)
 (3) 次世代アーキテクチャ向けオペレーティングシステムの開発 -プロトタイプの評価-
 岡本利夫, 津田悦幸, 福本 淳, 寺本圭一 (東芝)
 (4) OS/omicon における履歴管理のためのファイルシステム
 横田大輔, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)

◆第90回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数:6件)

(主査:松山隆司, 幹事:井宮 淳, 谷口倫一郎, 村瀬 洋)

日 時 平成6年9月20日 (火) 10:20~16:10

会 場 群馬大学 工学部 情報工学科

[桐生市天神町 1-5-1, JR:桐生 (東京駅から新幹線高崎または小山経由で 100分) 下車, タクシー15分. または東武線:新桐生 (浅草駅より急行「りょうもう号」で 100分) 下車, バス (桐生天神町行): 群大前 (20分) 下車.

Tel.(0277)30-1111(代)]

議 題

— 10:20-11:40 —

- (1) 事後確率を用いた移動物体検出手法 中井宏章 (東芝)
(2) 繰返しコニックパターンを用いたカメラキャリブレーション 高橋裕信, 末広尚士 (RWCP)

— 13:10-16:10 —

- (3) 招待講演: 適応的データ圧縮の最近の技法 (13:10~14:00) 横尾英俊 (群馬大)
(4) カラー画像分割 —ファジィ理論を応用した輪郭検出と領域抽出の併合—
伊東直子, 亀倉 龍, 嶋津義久, 横山光男, 松下 温 (慶大)
(5) ステレオによる3次元復元の信頼性評価 川島 徹 (群馬大), 金澤 靖 (群馬高専), 金谷健一 (群馬大)
(6) くりこみ法による平面の3次元運動解析 武田佐知男, 金谷健一 (群馬大)

◆第41回 アルゴリズム研究会

(発表件数:13件)

(主査: 浅野哲夫, 幹事: 加藤直樹, 鈴木 均, 徳山 豪)

日 時 平成6年9月21日 (水) 9:00~18:00

会 場 群馬大学セミナーハウス (草津)

[群馬県吾妻郡草津町大字草津字白根 737, JR (吾妻線): 長野原下車, バス: 草津温泉バスターミナル下車 (20分), 徒歩20分, またはタクシー 7分. Tel. (0279)88-2212]

議 題

— 9:00-11:45 —

- (1) タンパク質立体構造に対する部分構造検索およびアラインメント・アルゴリズム 阿久津達也 (群馬大)
(2) Ordered Binary Decision Diagrams, Gaussian Elimination and Graph Theory 今井 浩, 谷誠一郎 (東大)
(3) An efficient parallel algorithm for computing the convex hull of discs
陳 慰, 和田幸一, 川口喜三男 (名工大)
(4) ユークリッド距離変換アルゴリズム 平田富夫, 加藤敏洋 (名大)
(5) 空間内の多角形結び目と直線のアレンジメントの射影 富原雅則, 浅野考平 (関西学院大)

— 13:00-18:00 —

- (6) 招待講演: Geometric Range Searching Jiri Matousek (Charles Univ.)
(7) 節点がレベル付けされたグラフの枝交差最小描画問題に関する一考察 松本英幸 (早大)
(8) グラフ描画アルゴリズムの性能評価 角 浩二, 田中寿俊 (阪大), 榎原博之 (関西大), 中野秀男 (阪大)
(9) Butterfly Networksの de Bruijn NetworkおよびKautz Network への埋め込みについて
蓮沼 徹, 柴田幸夫 (群馬大)
(10) An Embedding of the Hyper-Ring into the Hypercube
濱田幸弘, 梅 傲寒, 西谷泰昭, 五十嵐善英 (群馬大)
(11) メッセージ通信モデルでの均一な自己安定アルゴリズムへの拡張について 青柳滋己, 真鍋義文 (NTT)
(12) Optimal Broadcasting Algorithm on Arrangement Graph
白 楽強, Peter 山川 (阪大), 榎原博之 (関西大), 中野秀男 (阪大)
(13) 動的凸包算法の高速化 永井 靖, 太田有三, 羽根田博正 (神戸大)

*宿泊についての問合せ先: 徳山 豪 (日本IBM) Tel. (0462)73-4957

~~~~~

◆コンピュータと教育研究会

研究発表会 開催予定変更のお知らせ

第34回研究会 平成6年9月30日 (金) 於北大 → 平成6年10月6日 (木) 於情報処理学会 (芝浦)

◆グループウェア研究会

問合せ先訂正のお知らせ

7月号に掲載いたしました10月13日 (木)・14日 (金) 開催予定のグループウェア研究発表会論文募集問合せ先に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、すでに申し込まれた方は問合せ先にご確認願います。

宗森 純 (鹿児島大)

(誤) Tel. (0992)54-7141 Fax. (0990)52-0706 → (正) Tel. (0992)85-8442 Fax. (0992)85-8464

## ◆データベースシステム研究会

第 100 回研究会を下記のとおり開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 程 平成6年10月13日(木)・14日(金)

会 場 青山学院大学 総研ビル

議 題

10月13日(木)(9:30~17:30)

○招待講演

(1) 高度情報化ネットワーク社会とメディア統合

釜江尚彦(YHP)

(2) Multidatabase Systems:Current Technology and Research Directions (仮題)

Hector Garcia-Molina (Stanford Univ., USA)

(3) Mobile Databases

Thomasz Imielinski (Rutgers Univ., USA)

(4) メディア・応用・環境統合のための高機能データベース

上林弥彦(京大)

○パネル討論:日本のデータベース技術 - 21世紀への展望 -

司会:増永良文(情報大)

パネリスト(歴代主査):西野博二(東京工科大), 穂鷹良介(筑波大), 酒井博敬(中央大)

上林弥彦(京大), 牧之内顕文(九大)

10月14日(金)(9:30~17:00) \*記念セミナーを併催いたします。

○研究会パラレル開催(\*詳細は次号(9月号)をご覧ください。)

\*ACM SIGMOD日本支部, 画像電子学会(メディア統合技術研究会)と共催。電子情報通信学会(データ工学研究会)協賛。

\*\*\* 研究会発表論文募集 \*\*\*

## ◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成6年11月17日(木)・18日(金)

会 場 機械振興会館

議 題 特集:データ工学とソフトウェア工学の接点, および一般

ソフトウェア工学とデータ工学とは密接な関係があります。例えばデータとしてのプログラムを扱うといった意味合いでの「リポジトリ」や、プログラムとしてのデータといった性質を持つアクティブデータベースを考えると、ソフトウェア工学的技法とデータ工学的技法が相互に適用できる可能性があります。また、「永続的プログラミング」というキーワード一つをとってみても両方の分野に共通する話題があります。本特集では二つの研究会の「接点」としてこれらの共通する話題について議論を深めることができましたという意図で企画しました。奮ってご投稿ください。なお、本特集以外のテーマでの発表も歓迎いたします。

発表申込締切 平成6年9月14日(水)

問合せ先 深澤良彰(早大) Tel.(03)3208-9162(兼 Fax.) e-mail:fukazawa@cfi.waseda.ac.jp

\*電子情報通信学会(データ工学研究会)と共催。

## ◆アルゴリズム研究会

日 程 平成6年11月18日(金)

会 場 東北大学

発表申込締切 平成6年9月5日(月)

発表申込先 徳山 豪(日本IBM) e-mail:ttoku@ibm.co.jp Fax.(0462)74-4282

## ◆人文科学とコンピュータ研究会

第24回研究会を下記のとおり開催いたします。多くの方の発表申込みをお待ちしています。

日 程 平成6年11月18日(金)

会 場 沖縄県立図書館(那覇市)

議 題 一般

発表申込締切 平成6年9月3日(土)

◆音楽情報科学研究会

第8回研究会の発表を下記のとおり募集いたします。音楽はじめ沖縄の文化に触れる企画なども予定しておりますので、多数ご応募、ご参加ください。

日 程 平成6年11月18日(金)(夕方)～20日(日)

会 場 沖縄県立芸術大学(那覇市当蔵 1-4)

発表申込締切 平成6年8月31日(水)

発表申込方法 発表題目、発表者名、略称所属、概要(50字程度)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel., Fax., e-mail)をご記入の上、下記の申込先へ直接お申込みください。

申込み・ 金城 厚(沖縄県立芸大) Tel. (098)831-5034, 5015 Fax. (098)831-5033

問合せ先 坪井邦明(千葉職業短大) e-mail:tsuboi@toho-u.ac.jp

\*航空券・ホテルは8月15日までに申し込んでいただければ比較的安価なものが手配できます。

◆コンピュータビジョン研究会

日 程 平成6年11月24日(木)

会 場 信州大学 工学部(長野)

発表申込先 村瀬 洋(NTT 基礎研究所 科学部, 厚木市森の里若宮 3-1)

Tel. (0462)40-3579 Fax. (0462)40-4714 e-mail:murase@apollo3.ntt.jp

できるだけ電子メールでの申込みをお願いします。電子メールを受けましたら返信しますので、もし返信のない場合にはご連絡ください。

\*特に申込みの指定がない研究会の発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会担当までご送付ください。

~~~~~

◆第16回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(主査:山田尚勇, 幹事:牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成6年9月14日(水) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修2号室(所在地は前記参照)

議 題 ISO関連について野村 勇氏(十印), 友田寛之氏(ロイドレジスターオブ SHIPPING)の発表を予定しております。

参加費 研究グループ未登録者:2,000 円(研究グループ年間登録:4,000 円)

問合せ先 福島, 杉田(富士通) Tel. (044)754-2660 Fax. (044)754-2662

◆第7回 ドメイン分析/モデリング研究グループ研究会

(発表件数:4件)

(主査:伊藤 潔, 幹事:伊藤光恭, 杵嶋修三, 佐伯元司)

日 時 平成6年9月21日(水) 10:00~15:00

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参照)

議 題

(1) (未定)

永田守男, 飯島 正(慶大)

(2) 実世界モデルに基づくソフトウェア開発技法の提案

飯泉純子(日立)

(3) 分散形計測制御システムとその設計支援

熊谷 敏(山武ハネウエル)

(4) ソフトウェア開発プロジェクト管理業務のモデル化

根岸賢司(松下電器)

◆第3回 分散システム運用技術研究グループ研究会

(主査:石田晴久, 幹事:岩原正吉, 箱崎勝也, 林 英輔)

日 時 平成6年9月22日(木) 13:30~17:00

会 場 電気通信大学 西9号館 AVホール

[東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1, 京王線:調布(北口)下車, 徒歩6分. Tel. (0424)83-2161]

発表申込締切 平成6年8月31日(水)

申込み・ 箱崎勝也(電気通信大学 情報システム学研究科)

問合せ先 Tel. (0424)83-2161(ext. 5276) Fax. (0424)85-9843 e-mail:hako@is.uec.ac.jp

*** 「研究グループ」について ***

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野となり得る苗床的研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために「研究グループ」制度があります。
活動期間：原則として2年)

この制度は、会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができ、現在4つの研究グループが活動をしています。

- | | |
|-------------------|-----------------------------------|
| 1. テクニカルコミュニケーション | (主査：山田尚勇, 幹事：牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高) |
| 2. 自然言語資源の共有化 | (" : 松本裕治, " : 佐野 洋, 田中裕一, 徳永健伸) |
| 3. ドメイン分析／モデリング | (" : 伊藤 潔, " : 伊藤光恭, 杵嶋修三, 佐伯元司) |
| 4. 分散システム運用技術 | (" : 石田晴久, " : 岩原正吉, 箱崎勝也, 林 英輔) |

なお、設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問い合わせください。



情報処理学会論文誌「グループウェア」特集号への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において下記の要領で「グループウェア」をテーマに特集号を企画しております。当学会のグループウェア研究会主催の研究会・シンポジウムで発表された論文、その他「グループウェア」に関連した論文を広く会員から募集しますので、奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

投 稿 要 領

論文の執筆要領	「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によります。 論文投稿規約は学会誌1994年5月号巻末に掲載されています。
査読手続き	通常の論文誌投稿論文と同一です。
投稿締切り	1994年8月31日 投稿論文には、「グループウェア特集」と朱書してください。
采否通知	1995年2月末
特集号予定	1995年5月号

本特集号への投稿論文は、一般投稿論文と全く同じ要領で査読手続きが行われます。
採録された論文は、一括掲載されるという利点があります。

研究発表会開催予定

(平成6年10月～平成7年3月)

(研究会名/英略称)	(開催日・会場 他)
自然言語処理 NL	11月17日(木)・18日(金) NEC(関西) 1月20日(金) 東京 3月 松下電器(飯塚)
データベースシステム DBS	10月13日(木)・14日(金) 青学大 ※第100回記念研究会 1月27日(金) 関西 3月14日(火) 情報処理学会(芝浦)
人工知能 AI	◎10月 4日(火)・5日(水) ATR 11月15日(火) 情報処理学会(芝浦) 1月 立命館大 3月 情報処理学会(芝浦)
記号処理 SYM	11月18日(金) 豊橋技科大 1月13日(金) 情報処理学会(芝浦) 3月24日(金) NTT(武蔵野)
ソフトウェア工学 SE	◎11月17日(木)・18日(金) 機振 3月 上智大 ※ドメイン分析とモデリング(*ドメイン分析/モデリング研究グループと合同)
計算機アーキテクチャ ARC	10月27日(木)・28日(木) 奈良先端大 ※第100回記念研究会 12月12日(月)・13日(火) 北陸先端大 ◎1月19日(木)・20日(金) 東京 ※アーキテクチャ設計支援 (*DA研と合同) 3月 札幌 -HOKKE-2- (*HPC研と合同)
システムソフトウェアと オペレーティング・システム OS	◎12月 8日(木)・9日(金) 京大会館 ※並列処理支援ソフトウェア 3月24日(金) 情報処理学会(芝浦)
コンピュータビジョン CV	11月24日(木) 信州大 1月19日(木) 龍谷大 3月 農工大
設計自動化 DA	◎10月27日(木)・28日(金) 北陸先端大 ◎1月19日(木)・20日(金) 東京 (*ARC研と合同) 3月 8日(水) 九大
マルチメディア通信と 分散処理 DPS	12月 2日(金) 情報処理学会(芝浦) 1月26日(木)・27日(金) 金沢工大 (*GW研と合同) 3月 3日(金) 情報処理学会(芝浦)
ヒューマンインタフェース HI	11月10日(木) 日立関西ラボ(大阪) 1月19日(木) 電通大 3月 2日(木)・3日(金) 金沢工大
グラフィクスとCAD CG	10月14日(金) 電総研 ※ボリュームビジュアライゼーションおよび一般 ◎12月16日(金)・17日(土) 岡山理科大 2月17日(金) 情報処理学会(芝浦) ※モデリングとインタラクティブCGおよび一般

(研究会名/英略称)	(開催日・会場他)
ハイパフォーマン ス コンピューティング HPC	10月20日(木) お茶の水女子大 12月14日(水) 情報処理学会(芝浦) 3月 札幌 -HOKKE-2- (*ARC研と合同)
情報システム IS	10月18日(火) 情報処理学会(芝浦) ※ネットワーク、そのインパクトと運用課題 1月17日(火) 情報処理学会(芝浦) 3月22日(水) 東京 -若手の会-
プログラミング -言語・基礎・実践- PRG	11月 4日(金) 岡山大 ※論理プログラミングは定着したのか? 1月27日(金) 情報処理学会(芝浦) ◎ 3月10日(金) 東京
情報学基礎 FI	11月 9日(水) 情報処理学会(芝浦) 3月 未定
コンピュータと教育 CE	10月 6日(木) 情報処理学会(芝浦) 11月25日(金) 情報処理学会(芝浦) ※資格教育の問題点・課題 1月20日(金) 工学院大
アルゴリズム AL	11月18日(金) 東北大 1月23日(月) 奈良先端大 3月17日(金) 日本IBM (東京基礎研)
人文科学とコンピュータ CH	11月18日(金) 沖縄 1月27日(金) 北海道開拓記念館
情報メディア IM	1月13日(金) 東京 ※人文社会科学とメディア 3月10日(金) 情報処理学会(芝浦) ※情報メディアアーキテクチャ
音楽情報科学 MUS	◎11月18日(金)～20日(日) 沖縄芸大 2月上旬 NTT (厚木通研)
オーディオビジュアル 複合情報処理 AVM	10月 7日(金) 東京 ※マルチメディア一般 12月 9日(金) 東京 3月10日(金) 早大(理工)
グループウェア GW	10月13日(木)・14日(金) 長崎大 1月26日(木)・27日(金) 金沢工大 (*DPS研と合同) 3月 2日(木) 横浜ランドマークタワー
*新設 音声言語情報処理 SLP	◎10月21日(金) 東工大 ◎12月 8日(木)・9日(金) NTT (横須賀) 2月 3日(金)・4日(土) 地方 ※音声入出力装置・インタフェース

(平成6年7月10日現在)

注) ※:特集(小特集)・テーマ, ◎:他学会との共催

HOKKE-2 :ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する『北海道』ワークショップ

◎各研究会に発表申込希望者は開催日の3ヶ月前までに研究会発表申込書を事務局研究会係までご送付ください。

—— 研究会参加・発表申込方法・研究報告について ——

○研究会参加

研究会には自由に参加できます。開催に関する詳細等は開催月前月の本欄に掲載いたします。
(長期開催予定は2, 8月号に掲載いたします。)

研究発表会当日参加について

登録会員の当該登録研究会参加 無 料

登録会員以外で研究発表会に参加の場合には

- ・会員 当日の資料代 (1,200 ～ 3,000円 *ページ数により5段階)
- ・学生会員 500 円
- ・非会員 1,000 円 + 当日の資料代

*年間をとおして参加、研究報告(研究発表会資料)入手希望の場合には登録をお願いします。

研究会登録申込

- ・登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送いたします。
- ・各研究会登録費につきましては、研究会登録申込用紙(新規)(2, 4月号本欄掲載)をご参照願います。
学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして、「研究会準登録者」制度を設けております。詳細につきましては事務局研究会係までお問い合わせください。

○発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究発表会の申し込みをすることができます。

- ・希望者は所定の研究会発表申込書(学会誌2, 8月号本欄に掲載)により、発表希望日の3ヵ月前までに事務局研究会係にお申し込みください。なお、申込締切日は都合により若干繰り上がることがあります。
- ・原稿執筆等についての詳細は発表が決定(開催月の2ヵ月前の中旬)しましたらお知らせします。

○研究報告残部資料購入申込

発表年月(資料番号)、研究会名、希望部数、申込者氏名、送付先、電話番号、郵便番号および支払方法を明記の上、書面にて事務局研究会係までお申し込みください。その際には、あらかじめ電話等で残部の確認をお願いします。

(当年度、前年度残部のみ頒布可。送料1冊につき270円。)

残部資料のないもののコピーサービスに関しましては、日本科学技術情報センター(JICST)へお問い合わせください(有料)。なお、国立国会図書館においても閲覧、コピーすることができます。

*日本科学技術情報センター(JICST) 〒100 東京都千代田区永田町 2-5-2 Tel. (03)3581-6411

*国立国会図書館 〒100 東京都千代田区永田町 1-10-1 Tel. (03)3581-2331

○研究報告の閲覧

閲覧希望者は、あらかじめ電話等でその旨を研究会係までお申し出のうえお越しください。

研究会発表申込書

研究会 (申込 年 月 日)

・発表希望開催日 年 月 日 ()

・タイトル

・氏名、略称所属
(発表者に○印右肩)

・概要（なるべくタイトルの重複記入は避け、補足事項等をご記入ください）

[illegible]

・原稿依頼送付先

—

・連絡先

所属

☎ — — ()

Fax.

e-mail

(会員 No.)

年 月 日受付 AM・PM 送付 主査・幹事 ()

(様式2)

担当

平成6年度各種行事の予定について

8月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご注意ください。

(行 事)	(期 日)	(会 場)
第49回全国大会	9・28 (水) ～ 30 (金)	北海道大学
第50回全国大会	平成7年 3・15 (水) ～ 17 (金)	青山学院大学 (渋谷)
平成6年電気・情報関連学会連合大会 (共催)	8・30 (火) ～ 31 (水)	工学院大学
.....		
(シンポジウム)		
DAシンポジウム '94	8・25 (木) ～ 27 (土)	南風荘 (蒲郡市)
変革期のソフトウェア工学	9・9 (金)	機械振興会館 (港区芝公園)
マルチメディア通信と高速・自律・分散・協調コンピューティング	9・13 (火) ～ 14 (水)	中央大学 (東京・春日)
グラフィクスとCAD	9・21 (水) ～ 22 (木)	工学院大学
新しい時代の情報処理教育カリキュラム	10・7 (金) ～ 8 (土)	電気通信大学
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	10・19 (水) ～ 21 (金)	バルセいいざか (飯坂温泉)
テストシステムに関する第7回国際ワークショップ	11・8 (火) ～ 10 (木)	ホテルストラダ新宿
コンピュータシステム	11・10 (木) ～ 11 (金)	工学院大学
Groupware '94	11・24 (木) ～ 25 (金)	N T T麻布セミナーハウス
利用者指向の情報システム	12・1 (木) ～ 2 (金)	工学院大学
アドバンスト・データベース・システム	12・8 (木) ～ 9 (金)	工学院大学
Int'l. Conf. on Information Networking	12・12 (月) ～ 14 (水)	千里 (大阪)
第36回プログラミング・シンポジウム	平成7年 1・10 (火) ～ 12 (木)	ホテル小涌園 (箱根)
ソフトウェア工学冬のシンポジウム	平成7年 (未 定)	沖縄
情報メディアの生態系	平成7年 2・16 (木) ～ 17 (金)	工学院大学
(連続セミナー)		
新しいユーザインタフェース技術の応用と課題	9・16 (金)	工学院大学
オブジェクト指向技術	11・16 (水)	工学院大学
新世代データベースシステム技術の展望	平成7年 1・19 (木)	工学院大学
インターネットの新しい展開	平成7年 3・9 (木)	工学院大学
(講習会)		
働く人のためのデータベース	10・14 (金)	青山学院大学 (渋谷)
アドバンスト・データベース・システム	12・7 (水)	工学院大学
(共 催)		
第25回画像工学コンファレンス	12・7 (水) ～ 9 (金)	A B C会館ホール
情報学シンポジウム	平成7年 1・11 (水) ～ 12 (木)	日本学会議講堂
(国際会議共催)		
第47回国際情報ドキュメンテーション連盟総会国際会議	10・2 (日) ～ 9 (日)	大宮ソニックシティ

第49回全国大会（平成6年後期）概要について

- 開催期日** 平成6年9月28日（水）～30日（金）
- 会場** 北海道大学教養部（札幌市北区北17条西8）
- 参加費** 電子情報通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本会会員扱いとします。（賛助会員は正会員に準じます。）
 会員 2,000円 非会員 4,000円 学生 無料
- 論文集・参加予約** 8月19日（金）締切り（20日以降は定価扱いになります。）
 分冊 予約価各 4,000円（定価各 6,000円）
 セット（6分冊一揃、講演者索引・カバー付）予約価 24,000円（定価 36,000円）
 〔送料〕大会後の発送希望者のみ、冊数を問わず同一料金
 北海道・九州 1,400円、中国・四国 1,300円、東北・中部・北陸 1,000円、関西 1,100円、関東 900円
- プログラム** プログラムの詳細は9月号に掲載されます。
- 招待講演1** （9月28日 13：00～14：30）
 インテリジェント・パッド 田中 譲（北大）
- 招待講演2** （9月29日 12：30～14：00）
 家族の原像 ― 霊長類の進化史から 河合 雅雄（日本福祉大）
- パネル討論** （9月30日 12：30～14：45）
 マルチメディア ― いま言いたいこと、やりたいこと― （司会）原島 博（東大）
 パネリスト 浜野 保樹（放送教育開発センター）、松下 温（慶大）、
 栗原 定見（NTT）
- 公開パネル討論** （9月29日 14：15～17：00）
 21世紀の情報技術を展望する（仮題） （司会）相磯 秀夫（慶大）
- 一般セッション** （論文発表申込 1,129件）
- 懇親会** 9月28日（水）18：00～（札幌会館：札幌市北区北17条西4）
 会費 5,000円（学生 3,000円）
- 宿泊・交通案内** 下記業者宛に申込みください。
- 日本交通公社 団体旅行新宿支店 営業第三課 担当：佐藤・奥山
 〒160 新宿区西新宿 1-18-8 新宿スカイビル 4F Tel.(03) 3346-0161 Fax.(03) 3346-8248
- ジェイティービー企画 担当：梶本・高谷
 〒060 札幌市中央区北3条西3 大同生命ビル 10F Tel.(011) 221-4800 Fax.(011) 232-5320
- 三 慶 担当：高橋
 〒170 豊島区東池袋 1-25-17 ウエストビル 2F Tel.(03) 3987-2631 Fax.(03) 3987-4659
- 近畿日本ツーリスト 札幌駅前支店 担当：高橋（知）・信原
 〒060 札幌市北区北7条西4 新北海道ビルディング 1F Tel.(011) 716-5522 Fax.(011) 716-5503

山下記念研究賞・奨励賞の表彰 平成6年度山下記念研究賞および48回全国大会奨励賞受賞者の表彰を本大会時に行います。

第50回全国大会（平成7年前期）の開催について

平成7年春の第50回全国大会は下記により開催される予定です。大会実施要領は9月号本欄に掲載されますので、ご留意ください。

期 日 平成7年3月15日（水）～17日（金）
場 所 青山学院大学青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

情報処理学会「行事」・「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚にて、下記ご記入の上、お申し込みください)

○第49回全国大会論文集・参加予約

コードNo.	
--------	--

(コードNo.は、開催のお知らせに記載してあります)

○参加費 (シンポジウム・講習会・セミナー)

(該当するものを○で囲み、金額を記入してください)

該当を○	会員・研究会登録会員・非会員・学生
金 額	

・参加費には資料代が含まれています。

・3日前までに連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○懇親会費 _____ 円

○資料のみ (送料込) _____ 冊 _____ 円

通信欄

○アンケート (宿泊付の場合の部屋割りの参考にします)

(1) たばこ: ☐すう ☐すわない(2) 年齢: ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代以上

その他ご要望があればお書きください。

○送金明細

分 冊	予 約 価 (定価)	部数	金 額
第1分冊	4,000円(6,000円)		
第2分冊	4,000円(6,000円)		
第3分冊	4,000円(6,000円)		
第4分冊	4,000円(6,000円)		
第5分冊	4,000円(6,000円)		
第6分冊	4,000円(6,000円)		
セット	24,000円(36,000円)		
※ 送 料	☐ 会場での受取を希望 ☐ 大会後送付を希望		
※ 参加費	会員 2,000円 一般 4,000円		
懇親会			
合 計			

※送料は、本会告に掲載されている第49回全国大会概要に明記されています。なお、会場での受取を希望の方は不要です。

※参加費には、プログラム、参加章が含まれています。

支 払 方 法 (該当を○してください)	a) 当日、会場受付にて支払います (第49回全国大会論文集・参加予約は事前送金のみ)。		
	b) 現金書留で _____ 月 _____ 日に送金します。		
送 金 人 名 義	c) 郵便振替 (00150-4-83484) で _____ 月 _____ 日に送金します。		
	d) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で _____ 月 _____ 日に送金します。		
	1. 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945		
	2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608		
請 求 書 類	請求書 通	見積書 通	納品書 通
	請求先		

申込先: (社) 情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7階
 Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: simanuki@ipsj.or.jp
 e-mailでの申込みの場合は、本申込書の事項をもれなく明記し、お送りください。

— 通信・送付先 —

住所 〒 _____

機関・部課名 _____

氏 名 _____

様 会員番号
(_____)

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

コードNo. RS94

情報処理学会「連続セミナー '94」
 ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための
 最新情報テクノロジーの理論と実践

企業等において、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）が積極的に検討されていますが、この中で先端情報テクノロジーが要素技術として必要不可欠であり、これを取り入れた情報システムが極めて重要な役割を占めています。

本セミナーは、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）の核心である最新情報テクノロジーの理論および実践について、6回のテーマで実施。第3回以降は、以下のテーマで行われます。参加ご希望の方は、本会告に掲載されております行事申込書に必要事項をご記入の上、お申込みください。多数の参加をお待ちしております。

場 所	工学院大学 3階312教室（東京都新宿区西新宿）		
参加費（4回分） （1回分）	会員 60,000円	非会員 80,000円	学 生 10,000円
	会員 18,000円	非会員 25,000円	学 生 2,500円
	1回のみ参加の方は、申込書通信欄に第何回のセミナーをご希望かを必ず明記ください。 ※参加費には資料代が含まれています。		
資料のみ	5,000 円（1回分） 申込書通信欄に第何回のセミナー資料をご希望かを必ず明記ください。		

〔第3回〕1994年9月16日（金）新しいユーザインタフェース技術の応用と課題

- ・セッション1（10:00 ～11:15）
 インタフェースとトータルデザイン 垣内 良規（富士通）
- ・セッション2（11:30 ～12:45）
 ユーザ中心のマルチモーダルインタフェースの実現に向けて 竹林 洋一（東芝）
- ・セッション3（14:00 ～15:15）
 ユーザビリティデザインの実践 井関 治（NEC）
- ・パネルディスカッション（15:30 ～17:30）
 コーディネータ：小川 克彦（NTT）
 パネリスト：井関 治（NEC），垣内 良規（富士通）
 竹林 洋一（東芝），安浦 通晃（慶大）

〔第4回〕1994年11月16日（水）

- オブジェクト指向技術
- ・オブジェクト指向開発の方法
- ・オブジェクト指向開発の実際（管理的側面）
- ・オブジェクト指向開発の適用と事例
- ・パネルディスカッション
 コーディネータ：青山 幹雄（富士通）

〔第5回〕1995年1月19日（木）

- 新世代データベースシステム技術の展望
- ・オブジェクト指向データベースシステム技術の展望
- ・マルチメディアデータベースシステム技術の展望
- ・ダウンサイジングにおけるデータベースシステム技術
- ・パネルディスカッション
 コーディネータ：増永 良文（情報大）

〔第6回〕1995年3月9日（木）

- インターネットの新しい展開
- ・内外のインターネットの現状
- ・インターネットの新しいサービス
- ・インターネットの新しい技術
- ・パネルディスカッション
 コーディネータ：石田 晴久（東 大）

講演者が決定次第ご案内いたします。

内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

コードNo. S-SE94-2

「変革期のソフトウェア工学」シンポジウムの開催について (ソフトウェア工学研究会 100 回記念附属)

ソフトウェア工学研究会も回を重ね100回目を迎えました。これを記念し、これまでのソフトウェア工学を振り返り、『変革期』にある現代から未来にむけて、我々は何をすべきかを考える場として、本シンポジウムを開催します。

現在はダウンサイジング、オープン化等により、ソフトウェア産業そのものが構造変革の時期であります。また、ソフトウェア自体に対するユーザ要求も、カスタムメイドからセミカスタムメイド、エンドユーザコンピューティング、汎用パッケージへと多様に変化してきています。これらに対応し『近代的』な産業となるため、ソフトウェア開発技術のブレークスルーが求められています。本シンポジウムでは、過去の技術に学びつつ、変革期を乗り切るための実践的なソフトウェア工学、未来のソフトウェア工学について皆様と共に考えたいと思います。多数の方々のご参加をお願いします。

日 時 平成6年9月9日(金) 9:30~17:45

会 場 機械振興会館地下2階ホール(東京都港区芝公園, 東京タワー前)

主 催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

参加費 登録会員 6,000円(7,000円) 会員 8,000円(9,000円), 学生 1,000円(2,000円) 非会員 10,000円(11,000円)

※括弧内は情報交換会の会費込みです。

シンポジウム終了後、情報交換会を予定しています。奮ってご参加ください。

申込締切 平成6年8月24日(水)

申込先 (社)情報処理学会 シンポジウム係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F Tel. (03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534

－プログラム－

開会挨拶 (9:30~9:40)

研究会主査 磯田 定宏(豊橋技科大)

山下記念研究賞 特別講演 (9:40~10:10)

・バグ作り込みにおけるストレス影響度の分析とストレスメトリクスの提案

古山 恒夫(NTT)

招待講演 (10:10~11:10)

・変革期の我が国情報産業の課題

棟上 昭男(IPA)

チュートリアル (11:10~12:10)

・マルチメディア・ソフトウェア工学

平川 正人(広島大)

－昼休み(12:10~13:30)－

招待講演 (13:30~14:30)

・変革する日本のソフトウェア工学

鳥居 宏次(奈良先端大)

チュートリアル (14:30~15:30)

・実践するソフトウェア工学

松尾谷 徹(NEC)

－休憩(15:30~15:45)－

パネル討論 (15:45~17:40)

・現場と理論のギャップを埋めるには

コーディネータ 磯田 定宏(豊橋技科大)

パネリスト(順不同) 佐伯 元司(東工大), 平川 正人(広島大)

松尾谷 徹(NEC), 石田 厚子(日立)

閉会挨拶 (17:40~17:45)

松村 一夫(東芝)

コードNo. S-CG 94

「グラフィクスとCAD」シンポジウム開催について

—CGの新しいパラダイムを求めて—

標記シンポジウムに、多数の論文をご応募いただきありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 平成6年9月21日(水) 午前10時～午後5時20分(午後6時より懇親会)
9月22日(木) 午前9時～午後5時30分

場 所 工学院大学新宿校舎3階312教室
(JR新宿駅西口から地下通路を京王プラザ方面へ徒歩4分、新宿区西新宿1-24-2, Tel.(03)3342-1211)

主 催 情報処理学会 グラフィクスとCAD研究会

参 加 費 「CGとCAD」研究会登録会員12,000円、正会員15,000円、非会員25,000円、学生会員5,000円(いずれも論文集を含む) 懇親会参加費3,000円、論文集のみ5,000円(送料込)

申込締切 平成6年9月2日(金)(定員180名になり次第締め切らせていただきます。また、論文集のみの場合は印刷部数に限りがありますので、早めにお申し込みください)

申 込 先 情報処理学会「グラフィクスとCAD」シンポジウム係
〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

— プ ロ グ ラ ム —

第1日9月21日(水)(10:00～17:20)

開 会 (10:00～10:10) 司会 福井 一夫 (NHK)

挨拶 大野 義夫 (慶大)

セッション1 自然物・現象の表現 (10:10～12:10) 座長 安生 健一 (日立)

・Hertz接触理論を用いた衝突時の質点系流体表現手法 寺沢 幹雄 (日大), 木村 文彦 (東大)

・陶芸のCGに向けた基礎的検討 川瀬 健二, 西関 隆夫 (東北大), 千葉 則茂 (岩手大)

・高精細顔モデルに基づく自然な表情合成法の一検討

岩澤昭一郎, 上野 雅俊, 森島 繁生 (成蹊大), 原島 博 (東大)

・自然な顔画像合成のための頭髮の表現と運動制御 安藤 真, 森島 繁生 (成蹊大), 原島 博 (東大)

— 昼休み (12:10～13:30) —

招待講演 (13:30～14:30) 座長 千葉 則茂 (岩手大)

「代数的制約記述に基づく感性情報の表現と処理」～カラー平面装飾デザインを例として～ 松山 隆司 (岡山大)

— 休 憩 (14:30～14:50) —

セッション2 レンダリング (14:50～17:20) 座長 間瀬 健二 (NTT)

・ドット・ラインシェーディングによる白黒画像のための強調描画手法

島田 繁広, 神原 章, 近藤 邦雄, 佐藤 尚, 島田 静雄 (埼玉大)

・視線制御を用いた階層型ポリゴンデータの適応的実時間表示法

大島登志一, 内山 晋二, 山本 裕之, 田村 秀行 (キヤノン)

・ラジオシティ法における輝度不連続境界の算出およびメッシュ生成

伊藤 貴之, 嶋田 憲司, 土井 章男 (日本IBM)

・ヘミキューブの分割によるラジオシティ法の並列化 上嶋 明, 山崎 勝弘, 渡辺 透, 得丸 英勝 (立命館大)

・インタラクティブ照明設計のための基底関数を用いた高速レンダリング法

土橋 宜典, 金田 和文, 山下 英生 (広島大), 西田 友是 (福山大)

第2日 9月22日(木)(9:00～17:30)

セッション3 グラフィックスシステム (9:00～10:00) 座長 小堀 研一 (大阪工大)

オブジェクトベース・グラフィックス

畠山 正行, 上原 均, 坂石 卓哉 (茨城大)

・アプリケーショントレースを用いたPHIGSの並列処理の実行効率評価 川瀬 桂, 森山 孝雄 (日本IBM)
—休憩 (10:00~10:10)—

企画セッション 映像制作現場からの報告 (10:10~12:40)

座長 福井 一夫 (NHK)

・番組人体IIにおけるCGと実写の連動合成

坂井 滋和 (九州芸工大)

・ハイパーアニメ DRAGON BALL の制作

新聞 敏雄 (NHKエンブラ)

・モーションコントロールとCGI

小川 洋一 (白組)

・映像制作におけるCGI技術の応用と実践

平野 善久 (リンクス)

—休憩 (12:40~13:40)—

記念講演 (13:40~14:10)

司会 斉藤 剛 (電機大)

「球の最密充填とDelaunay網による曲面の三角形分割」

嶋田 憲司 (日本IBM)

—休憩 (14:10~14:20)—

セッション4 形状処理(1) (14:20~15:50)

座長 松木 則夫 (日本ユニシス)

・ウェーブレット分解を用いた階層化B-スプライン曲面の生成

橋本 守 (日本電気)

・B-スプラインの積の計算の曲面モデリングへの応用

植田 健治 (リコー)

・臨界点算出によるベジェ曲面間の全交線計算法

山口 泰 (東大), 神山 隆治 (NTT), 木村 文彦 (東大)

—休憩 (15:50~16:00)—

セッション5 形状処理(2) (16:00~17:30)

座長 山口 泰 (東大)

・グレブナ基底を用いたレンディング面の生成

林田 哲哉, 島崎 眞昭 (九大)

・布地のTchebychev Netモデルと曲面へのマッピング

青野 雅樹 (日本IBM)

・ダイナミックフォント: その概念と生成の手法

高山 訓治 (富士通), 狩野 弘之 (東京電機大), 三末 和男, 前田 芳晴, 細木 信也, 杉山 公造 (富士通)

コード No. S-DBS 94

「情報処理学会第100回データベースシステム研究会記念 合同研究会併設セミナー」開催について

ー働く人のためのデータベースー

第100回データベースシステム研究会を記念して、これからますます重要になると考えられるデータベースの最重要研究・開発課題のいくつかについて、その現状と将来を考えます。このセミナーでは特に、研究者だけでなく現在情報処理の現場の第一線で仕事をされている技術者の方々も対象に、働く現場とそれを取り巻く環境でデータベースがどのような役割を果たしていくのかについて焦点をあてます。参加ご希望の方は、本会告に掲載されております行事申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。多数の参加をお待ちしております。

日 時 平成6年10月14日(金) 9:30～17:00
場 所 青山学院大学総合研究所ビルディング11階第19会議室(東京都渋谷区渋谷4-4-25)
共 催 情報処理学会 データベースシステム研究会, ACM SIGMOD日本支部
画像電子学会 メディア統合技術研究会
協 賛 電子情報通信学会 データ工学研究会
参 加 費 上記研究会/日本支部会員 10,000円, 情報処理学会会員 12,000円, 学生 3,000円, 非会員 15,000円
申込締切 9月19日(月)
申 込 先 (社)情報処理学会 シンポジウム係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7階
Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534

ー プ ロ グ ラ ム ー

- (1) ドキュメント管理とワークフロー管理の実例 (9:30-10:40) 石川 浩二 (キヤノン販売)
最近、組織のワークフローや文書伝達系とデータベースシステムを一体化したシステムが多数開発されている。組織のリエンジニアリングやネットワークの普及に伴いこのようなDBMSの新しい応用の需要が現在高まっている。ここでは、製造業、製薬業、運送業、調達業務など様々な業種/業務におけるOpenODMSを用いたワークフローのシステム化の実績をもとに、現状と今後の課題について解説する。
- (2) 映像符号化の標準化動向について (10:40-11:50) 島村 和典 (NTT)
映像符号化技術の標準化は、普通の放送用のNTSC信号のためのものから高精細なHDTV信号用のものに対象が広がっている。また、デジタル通信網でのAV通信用のH.221から、CD-ROM応用のMPEG1、さらにより高品質な映像再生を目的としたMPEG2へと規格作りが広がられてきている。特に、MPEG系列はビデオ・オン・デマンドなどのデータベース応用にも期待が大きい技術となっている。圧縮符号化とサービスとしての周辺技術標準の最近の動向を紹介する。
- (3) オブジェクト指向分析・設計とデータベース (13:10-14:20) 中谷多哉子 (富士ゼロックス情報システム)
オブジェクト指向データベースシステムを使いこなすためには、対象世界のオブジェクト指向分析/設計(OOA/OOD)を確実に行うことが前提となる。そこで、OOA/OODの最近事情、「フレームワーク」概念、OOA/OODとデータベースとの関連などに関して解説する。
- (4) 生産管理とデータベース (14:20-15:30) 依田 智夫 (東洋エンジニアリング)
CIM(コンピュータ統合生産)分野の中でも特に生産管理を中心として、「楽につくれて、役に立つデータベース・アプリケーション」を構築するための方法について考察する。具体的な方法としてオブジェクト指向技術を生産管理のような基幹システムに適用することを検討し、そこで従来からの情報資源管理やソフトウェア開発プロセスがどのように変わらうか、また、開発生産性以外に、システムのパフォーマンスなどユーザーサイドのメリットについても解説する。
- (5) インターネットとデータベース (15:50-17:00) 上善 恒雄 (千里国際情報事業財団)
インターネットを通じて情報を獲得し、また逆に世界に向けて情報を発信しようとする活動が、計算機を専門としない人々の間でさえ盛んに行われるようになり、インターネットは、今、世界の情報基盤としての歩みを着実に進めてきている。ここでは、インターネットでデータベースがどのように利用されているかを紹介し、またデータベースなどを用いて世界に向けて情報を発信するにはどのような方法があるかについて解説する。

「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」開催について

『マルチメディア通信と分散処理』では、高速通信ネットワークを中心とした通信技術、マルチメディア通信、分散システム等の種々の分野について活発な研究が行われております。昨年11月に山形県蔵王温泉で開催したワークショップにおいても、35件の優れた論文が発表され、活発な議論が行われました。研究活動の活性化および今後の研究の方向を探るための場として、本年もワークショップを開催いたしますので、これらの分野に関心をもたれている研究者、利用者の方々の幅広い参加をお待ちしております。

日 時 平成6年10月19日（水）～10月21日（金）

場 所 パルセいいざか（福島市飯坂温泉）

JR 福島駅より福島交通電車で飯坂温泉駅下車（約20分）徒歩5分

主 催 マルチメディア通信と分散処理研究会

参 加 費 正会員 20,000円 研究会登録会員 17,000円

非会員 25,000円 学 生 12,000円（いずれも論文集を含む）

論文集のみ3,000円（送料込）

※参加申込み後、止むを得ず参加を取り消される場合、10月7日（金）までをお願いします。取り消しの連絡がない場合、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。

※発表者の方も参加申込みが必要です。

※申込書は、本会告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は、会告目次をご覧ください。

※宿泊場所については、60名分（発表者優先）確保しています。

ご希望の方は申込書通信欄に“宿泊希望”とお書きください（2泊3日：約15,000円予定）。

申込締切 平成6年9月22日（金）

（定員100名になり次第締め切らせて頂きます。論文集のみの方は、印刷部数に限りがありますので、お早めにお申込み下さい）

申 込 先 〒108 東京都港区芝浦三丁目16番20号 芝浦前川ビル7階

（社）情報処理学会 ワークショップ係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

プログラム 9月号に掲載予定

問合せ先 〒350 川越市鯨井中野台2100

東洋大学工学部情報工学科

柴田 義孝

Tel. (0492)31-1211 (ext. 5671) Fax. (0492)33-9788

e-mail shibata@yosemite.cc.toyo.ac.jp

または

〒992 米沢市城南4-3-16

山形大学工学部電子情報工学科

丹野 州宣

Tel. (0238)22-5181 (ext. 411) Fax. (0238)26-2082

e-mail tanno@eie.yz.yamagata-u.ac.jp

コードNo. IWPTS 94

CALL FOR PARTICIPATION

テストシステムに関する第7回国際ワークショップ

7th International Workshop on Protocol Test Systems

IWPTS'94 参加者募集

平成6年11月、下記の要領で東京において IFIP と情報処理学会共催の「第7回プロトコルテストシステムに関する国際会議」が開催されますので、奮って参加くださるようご案内いたします。

この会議では、通信システムのテストに関して、理論と実際の両面からその研究開発について深く討論することを目的としています。

この会議の内容は、招待論文、査読された論文、ツールのデモンストレーション等から構成されています。

日 程	1994 年 11 月 8 日(火)～ 10 日(木)
会 場	ホテル ストラダ新宿 Tel. (03)5272-8111
主 催	情報処理学会
共 催	IFIP
協 賛	INTAP, IEICE
参 加 費	10 月 7 日まで 40,000 円
	10 月 8 日以降 45,000 円
	学生 10,000 円
	論文集のみ：(送料込み 5,000 円)

参加申込方法 会告欄の行事申込書によってお申込みください。

参加申込先(問合せ先) (社) 情報処理学会 ワークショップ係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7階
Tel..(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

「1995 情報学シンポジウム」論文募集 —情報の多目的利用に向けて—

目 的 社会における情報の円滑な流通と高度利用を促進するため、データ、知識に関する基本的問題とその整備、利用に関するアイディアや経験を、研究者、開発者、および利用者が共有し、交流をはかる。本シンポジウムは1984年以来毎年開催されている。

トピック コンピュータネットワーク網の急速な発展にともない、その流通の中心となる“情報”の生産、管理などに関して広い分野からの活発な議論を必要とする時期にあると考えられる。そこで今回のシンポジウムでは、様々な社会活動における情報の生産、利用に関する人文・社会科学的アプローチおよび工学的アプローチの両面から下記の分野（限定はしない）の論文を募集する。

- (1) 社会活動における情報の管理、情報システムなどへの期待
政治・経済と情報、文化・教育と情報、社会環境と情報、および情報ネットワークと社会構造、地域（日本）からの情報発進など。
- (2) 情報・知識の表現、蓄積、加工、および利用技術
マルチメディア情報処理技術、知的活動（発想・設計・製造）の支援技術、および情報資源の管理・利用技術など。
- (3) 通信技術と情報処理技術
コミュニケーションの科学、高度コンピュータネットワーク網の構築・利用、および情報システムの構築など。

共同主催（予定） 日本学会会議 情報学研究連絡委員会

学術文献情報研究連絡委員会

学術データ情報研究連絡委員会

情報工学研究連絡委員会

情報処理学会、人工知能学会、日本医学会、日本化学会、日本数学会、日本地理学会、日本物理学会、情報知識学会、日本生物物理学会

後 援（予定） 学術情報センター、計測自動制御学会、国際電信電話㈱、情報科学技術協会、情報通信学会、電子情報通信学会、日本医療情報学会、日本科学技術情報センター、日本機械学会、日本金属学会、日本原子力学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本生化学会、日本電信電話㈱、日本動物学会、日本農学会、日本分子生物学会、日本分析化学会、日本薬学会、化学情報協会、ICOT

日 時 1995年1月12日（木）～13日（金）9：30～17：00

場 所 日本学会会議講堂 〒106 東京都港区六本木 7-22-34（地下鉄千代田線、乃木坂駅）

講演申込方法 ワープロ使用でA4用紙4～10枚の論文と題目、氏名、連絡先、職名を記入した別紙を添えて下記に申し込む（発表者に丸印を記入）。

講演申込締切 1994年9月17日（土）

採否通知 プログラム委員会で審査し、採否は1994年10月1日までに発送する。

最終原稿締切 1994年11月30日（水）

参加申込 氏名、連絡先、職名、資料必要の有無をはがきに記入し、12月20日（火）までに下記に申し込む（当日受付もあるが、資料の不足の際は事前登録者を優先する）。

参加費 （資料代として）予定 共催学協会員 8,000円 学生 3,000円 一般 12,000円

申込先 （社）情報処理学会 情報学シンポジウム係

〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7階

Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534



第26回人工知能セミナー

「AIを用いたリエンジニアリングの実際」

下記のとおり、1994年9月に「AIを用いたリエンジニアリングの実際」をテーマとした第26回人工知能セミナーを開催します。

現在、情報システムを活用した経営革新手法として、ビジネスプロセスリエンジニアリングが注目を集めています。今回のセミナーでは、ビジネスプロセスリエンジニアリングとは何か、実際に企業でどのような観点から進められているか、また、AI技術がその中でどう生かされているかなど、リエンジニアリングの実際について、AI技術との関わりを中心に紹介し、今後の課題について展望します。また、「日本電気の研究開発戦略」と題する特別講演と、NEC中央研究所見学会も予定していますので、奮ってご参加下さい。

◇日時：1994年9月13日（火）9時30分～16時45分

◇場所：日本電気（株）中央研究所・講堂（川崎市・宮崎台）

〒216 川崎市宮前区宮崎4-1-1 TEL.044-856-2370（当日緊急連絡用）

＜田園都市線「宮崎台」下車、徒歩12分、または「鷺沼」行きバスで「日本電気研究所」下車＞

◇協賛予定：（社）情報処理学会、（社）電子情報通信学会、（社）計測自動制御学会、（社）テレビジョン学会、（社）電気学会、（社）日本鉄鋼協会、（社）日本機械学会、（社）精密工学会、（社）自動車技術会、（社）日本経営工学会

◇プログラム：

《講演》

- （司 会） 山之内 徹氏（日本電気・C&C研究所）
- （9:30～10:30）ビジネスプロセスリエンジニアリングにおけるAIの役割
小林 重信氏（東京工業大学教授／人工知能学会理事）
- （10:30～11:30）BPRの成功事例／失敗事例
大浦 勇三氏（ADL, Japan 主席コンサルタント）
- （11:30～12:00）〔特別講演〕日本電気の研究開発戦略
飯沼 一元氏（日本電気・研究開発技術本部長／人工知能学会理事）
- （12:00～13:00）休 憩
- （13:00～13:45）物流プロセスリエンジニアリングの実際
玉川 雅浩氏（ヤマトシステム開発・営業開発部）
- （13:45～14:30）生産プロセスリエンジニアリングの実際
酒井 正氏（ソニー・業務改革推進部）
- （14:30～14:45）休 憩
- （14:45～15:30）開発プロセスリエンジニアリングの実際
山之内 徹氏（日本電気・C&C研究所）

《パネル討論》

- （15:30～16:45）テ マ リエンジニアリングの展望
司 会 小林 重信氏
パネリスト 大浦 勇三氏／玉川 雅浩氏
酒井 正氏／山之内 徹氏

《その他》

（17:00～17:40）NEC中央研究所見学会

セミナー終了後、NEC中央研究所の見学会を行います。ご希望の方はセミナー申込みと併せて、お早めにお申し込み下さい（先着60名）。なお、NECと同業の会社の方の見学会への参加はご遠慮願います。

◇参加費（テキスト代を含む）：

会 員	18,000円（賛助会員社および協賛学会の方々を含みます）
非 会 員	30,000円
学 生	6,000円

◇定 員：200名（申込受付順）

◇申 込 先：（社）人工知能学会事務局 〒162 東京都新宿区津久戸町4-7 O Sビル402号室
TEL.03-5261-3401 FAX.03-5261-3402

◇申込方法：裏面の申込書に所定事項を記載の上事務局まで郵送またはファクス送りし、下記の郵便振替口座または銀行口座で参加費をお払い込みください（第26回セミナー参加費とご記入下さい）。折り返し参加証をお送りします。

・郵便振替口座：東京5-193586 人工知能学会

・銀行普通口座：第一勧銀飯田橋支店1668449 人工知能学会

◇主 催： J S A I （社） 人 工 知 能 学 会

「若手のための PRU & CV ワークショップ」 参加募集 発表募集
— ビジョンの現状と課題そしてその将来—

PRU(パターン認識理解) & CV(コンピュータビジョン)の分野は、基礎理論およびその応用において、多様な展開をみせています。本ワークショップにおいては、ビジョン研究の現状と課題そしてその将来に焦点をあて、ビジョン研究およびその関連分野の第一線で活躍されている講師の方々とビジョンに興味を持つ若手研究者との合宿形式での討論会を通して、ビジョンにおけるこれまでの研究の展開について理解を深め、さらに、ビジョンの将来構想・目標、研究方針を語り合い、それらを実現するためのブレークスルーを探ることを目的とします。奮ってご参加下さい。なお、本ワークショップは、平成3年の「若手のためのセミナー — 画像の認識と理解」の続編として開催されます。

日時：平成6年10月27日(木)13:00～29日(土)12:00

場所：三重県 プラージ大阪商工会議所 賢島研修センター

参加資格：この分野に興味のある若手研究者・技術者・学生。50名。

講師とテーマ：

- ビジョン研究の新展開を議論する。
松山隆司(岡山大) 画像理解のための多角的情報の統合
浅田 稔(阪大) 視覚に基づくロボットの行動獲得
金谷健一(群馬大) 幾何学的問題の最適推定と精度の理論限界
- ビジョン研究を幅広い視野でとらえる。
小川英光(東工大) 学習と汎化
奥乃 博(NTT) マルチエージェントモデルによる認知機構へのアプローチ
乾 敏郎(京大) 知覚と認知の脳内メカニズム
- ビジョン研究の将来応用を考える。
稲葉雅幸(東大) 脳を持ち歩かないロボットによる感覚・知能・行動システムの研究
末永康仁(NTT) 人物像の認識と生成—優れたインタフェースの実現を目指して—

幹事：天野見(京大), 栄藤稔(松下) 岡崎信一郎(日電), 岡田稔(名大), 斎藤英雄(慶大), 佐藤嘉伸(阪大), 鷺見和彦(三菱), 八木康史(阪大), 和田俊和(岡山大)

申込み方法：参加希望者は、氏名、所属、連絡先(住所、電話、Fax, Email)、および会員(所属学会と会員番号)／非会員／学生の種別を明記の上、Email, Fax, または郵便にて、下記の申込先へお送り下さい(出来るだけ、Emailでお申し込み下さい)。なお、部屋割りの参考のため、性別、年令、喫煙の有無もお書き添え下さい。申込み締切りは、8月31日、参加費の振り込み期限は9月30日です。

参加者の中で、新しいビジョンシステムの構想、ビジョン研究に対する問題提起などに関する発表をして頂く方を合わせて募集します。発表希望者は、申込み書に「発表希望」と明記し、申込み時に、タイトルと300字程度の発表内容の梗概を沿えて下さい。

参加費：一般(会員22,000円, 非会員27,000円), 学生17,000円(2泊3日宿泊, 食事代及び会費を含む)
申込／問合せ：〒619-02 京都府相楽郡精華町光台2-2 ATR 人間情報通信研究所 第二研究室内「若手のためのPRU & CV ワークショップ」事務局, 担当 武藤 有理子(電話 07749-5-1013, FAX 07749-5-1008, E-mail yuriko@hip.ATR.co.jp)

振込先：住友銀行 平城支店(店番号543) 普通預金口座 488288 口座名義「若手のためのPRU & CV ワークショップ」事務局

共催：電子情報通信学会 パターン認識理解専門委員会, 情報処理学会 コンピュータビジョン研究会
計測自動制御学会パターン計測部会

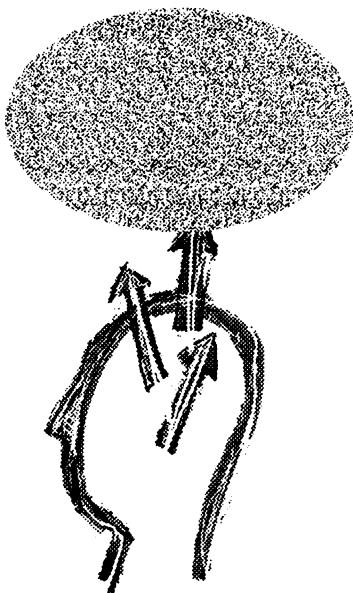
協賛：視聴覚情報研究会(AVIRG)



第6回人間とコンピュータの関わり合いに関する国際会議
論文募集のお知らせ

HCI International '95 in Tokyo

- 6th International Conference on Human-Computer Interaction -



1995年7月9～14日
横浜国際平和会議場
(Pacifico YOKOHAMA)

●本国際会議について

本会議はヒューマンインターフェイスに関する幅広いテーマを含んだ学際的な研究交流の場で、これまで世界各地で活発な議論の場として確立されてきております。特に今回は日本のみならず、アジアで開催される初めてのヒューマンインターフェイスの国際会議であり、「人間とコンピュータの共生」をテーマに、計算機科学、人間工学、心理学、労働医学、社会学等様々な分野からの論文投稿を期待されております。

●トピックス

- ・次世代インターフェイス
- ・コンピュータを用いた福祉
- ・ヒューマンインターフェイスデザイン
- ・コンピュータの人間工学的側面と健康問題
- ・コンピュータ技術の組織や社会へ与える影響
- ・マルチメディアと情報ハイウェイ
- ・その他の分野への応用
- ・その他ヒューマンインターフェイスに関するテーマ

●主催

日本人間工学会、計測自動制御学会、
情報処理学会、電子情報通信学会、
(財)パブリックヘルスリサーチセンター

●投稿日程

- 頭発表アブストラクト提出締切(英文800語)
1994年10月31日
- 頭発表採択通知
1995年1月7日
- 頭発表最終原稿締切
1995年3月31日
- ポスターアブストラクト提出締切(英文300語)
1995年1月31日
- ポスター採択通知
1995年3月15日
- ポスター最終原稿締切
1995年4月30日

●論文投稿先

論文のコピー5通を下記宛に送付ください。

〒233 横浜市港北区日吉3-14-1
慶應義塾大学理工学部計算機科学科
HCI International '95 プログラム委員長
安西祐一郎

●問い合わせ先

〒158 東京都世田谷区玉堤1-28-1
武蔵工業大学経営工学科
HCI International '95 事務局
Tel & Fax : 03-5707-9053
E-mail: HCI95@ie.musashi-tech.ac.jp

第15期最後の総会開催される

平成6年6月 日本学術会議広報委員会

今回の日本学術会議だよりでは、5月25日から27日まで開催された第118回総会の概要と同総会で採択された「新しい方式の国際研究所の設立について(勧告)」、「公的機関の保有する情報の学術的利用について(要望)」、「女性科学研究者の環境改善の緊急性についての提言(声明)」についてお知らせします。

日本学術会議第118回総会報告

日本学術会議第118回総会(第15期・第6回)が、5月25日～27日の3日間にわたって開催されました。

総会の初日(25日)の午前は、会長からの前回総会以降の経過報告に続いて、各部、各委員会等の報告が行われました。次いで、今回総会に提案されている13案件について、それぞれ提案説明と質疑応答が行われました。午後からは、各部会が開催され、総会提案案件の審議及び各部会個別案件について審議が行われました。

総会2日目(26日)の午前は、前日提案された13案件のうち、9案件の審議・採択が順次行われました。

まず、「日本学術会議会則の一部を改正する規則」、「日本学術会議の運営の細則に関する内規の一部改正」、「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規の一部改正」、「副会長世話担当研究連絡委員会の運営について(申合せ)の一部改正」及び「第16期における研究連絡委員会委員の在任期間等に関する規定の適用について(申合せ)」について一括して討論が行われ、採決の結果、いずれも可決されました。これらの会則、内規等の改正は、

1. 運営審議会の構成員等の見直し

常置委員会と運営審議会の連絡を緊密にし、運営審議会の議論をより充実させるため、常置委員会委員長が常時運営審議会に出席することとし、併せて、運営審議会の構成員の見直しを行うこと。

2. 第7常置委員会の設置及び第16期に向けての研連の見直し

国際対応委員会の改組について(申合せ)(平成

5年4月22日第116回総会決定)に沿って第7常置委員会を設置し、併せて、各部等での検討結果を踏まえ、第16期へ向けての研連の見直しを行うこと。

3. 研連委員の在任期間等関係

研連委員の在任期間に関する運営内規の解釈をより一層明確化するとともに、将来に向けての研連活動の継続的発展・活性化を図るため、研連委員の在任期間等についての関係規定を整備すること。

を趣旨とするものです。

次に、「運営審議会附置会員推薦手続検討委員会の設置」についての討論・採決が行われ、可決されました。これは、会員推薦制度導入以来、今回で4度目となり、会員推薦手続の過程において、幾つかの問題点がみられたことから、これらの諸問題について審議するため、新たな委員会を運営審議会に附置するものです。

続いて、「新しい方式の国際研究所の設立について(勧告)」、「公的機関の保有する情報の学術的利用について(要望)」、「女性科学研究者の環境改善の緊急性についての提言(声明)」についての討論・採決が行われ、可決されました。午後は、「第6常置委員会報告～国際学術交流・協力の飛躍的発展のために～」、「人口・食糧・土地利用特別委員会報告～21世紀の人口・食糧問題に対する全人類の取組に向けて～」、「学術国際貢献特別委員会報告～学術国際貢献のための新たなシステムについて～」及び「死と医療特別委員会報告～尊厳死について～」の4件の対外報告について討論が行われ、それぞれ承認されました。

総会3日目(27日)は、午前は各常置委員会及び国際対応委員会が、午後は各特別委員会がそれぞれ開催されました。

新しい方式の国際研究所の設立について (勧告) (抄)

近年、学術の国際交流がますます盛んになるとともに、新しい方式の研究所が世界の国々に設立されている。それらの新しさは、固有の研究員をほとんどたず、国内外から招請した客員研究員による共同研究を企画し実行する点にある。この方式にふさわしい分野としては、自然科学のみならず、人文科学、社会科学を含め様々な領域が考えられるが、理論構築を主眼とする研究領域においては、研究テーマを学際的、機動的に選択する上で特に有効である。これは、また国を異にする若手研究者が相集い、生活と研究ないし研修を共にする場としても大きな効果を生むであろう。実際、世界的には、この意味で成果をあげている新研究所も少なくない。

さらに、いま国際貢献が基礎科学においても強く求められているが、それは、学術研究の推進と相互に強め合うべきものであって、このためにも新しい方式は最適である。

こうした観点から、新しい方式の国際研究所の設立が必要であり有用であるとの結論に達したので、ここにその設立を勧告する。

公的機関の保有する情報の学術的 利用について (要望) (抄)

研究者が学術研究のために必要とする情報には、極めて広範囲なものが含まれており、その内容は、学問分野によっても多種多様である。学問分野によっては、公的機関の保有する情報が学術研究にとって極めて重要ないしは不可欠な意味をもつことになる場合も少なくないが、多くの場合に、かかる公的機関の保有する情報を学術情報として利用することには困難が伴っている。それは、公的機関の保有する情報の少ない部分が公開されておらず、学術情報としての利用についてもその開示を求めることができないからである。

このような公的機関の保有する情報の学術的な利用のためにも、まず基本となるのは、国民の基本的な権利に基づく公的機関の保有する情報の公開制度である。この制度の確立によって、公的機関の保有する情報の学術情報としての利用も同時に保障されることになるからである。公的機関としては、国家機関及び地方公共団体機関を挙げることができるが、国家機関の保有

する情報についての公開制度が設けられていないことは、学術研究にとっても特に重大な障害となっている。国民の「知る権利」を中心とする基本的権利を保障するための国家機関の保有する情報の公開制度は、学術研究にとっても極めて重要な意味をもっているといえることができる。国民の基本的な権利を保障するために、また学術研究の推進のためにも、原則公開を基本とした確かな内容を持つ国の情報公開制度の確立が不可欠であると考えられるので、ここに情報公開法の制定を要望する。

なお、公的機関の保有する情報の学術的利用については、情報の保存及び研究者による非公開情報の利用についての検討が必要である。

女性科学研究者の環境改善の緊急性 についての提言 (声明) (抄)

女性の社会的地位の向上を目指す取組が、国際的にも国内的にも種々行われているが、日本学術会議においても第10期及び第12期に女性科学研究者の地位の向上に関する「要望」を決議した。今期、すなわち第15期の発足に当たり、日本学術会議は「女性研究者の地位の向上」に留意することを再確認し、今期の活動計画の一つにこの課題を取り上げ審議してきた。その結果、女性科学研究者の地位の向上の必要性は理念的には一般化したものの、科学者全体の対応の遅れもあって、その地位は実質的に余り改善されていないことが明らかになった。

このため、特に基礎科学分野における科学研究者不足の事態が目前に迫っている現在、我が国における科学の調和のある発展のために、第10期、第12期での男女平等の視点を前提としつつ、日本学術会議は、改めて女性科学研究者の環境改善の緊急性を指摘するとともに、関係方面に環境改善の促進を強く訴えるものである。

「日本学術会議だより」について御意見、お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

<国内会議>

高専情報処理教育研究委員会第14回研究発表会

平成6年8月25日(木)

福井厚生年金会館

INE'94「OSI相互接続実験'94」

平成6年9月26日(月)～29日(木)

東京国際見本市会場

システム制御情報イーブニングスクールチュートリアル講座「線形システム理論入門」

平成6年9月6日(火),9日(金),13日(火),16日(金),20日(火)

大阪府立労働センター

セミナー「人工生命／遺伝的アルゴリズム／ニューラルネットとは何か?その本質に迫る!」

平成6年9月29日(木)～30日(金)

大阪・三田出版会

平成6年10月4日(火)～5日(水)

東京・三田ホール

システム制御情報チュートリアル講座'94「プラクティカル制御系設計法」

平成6年11月24日(木)～25日(金)

大阪・三田出版会

平成6年12月8日(木)～9日(金)

東京・三田ホール

第26回人工知能セミナー「AIを用いたりエンジニアリングの実際」

平成6年9月13日(火)

川崎・日本電気(株)中央研究所

セミナー「ミクロな構造の計測と検査」

平成6年11月18日(金)

大阪・千里ライフサイエンスセンター

第15回バイオメカニズム学術講演会

平成6年10月31日(月)～11月1日(火)

茨城・科学技術庁研究交流センター

第17回情報理論とその応用シンポジウム

平成6年12月6日(火)～9日(金)

広島ロイヤルワシントンホテル

第13回IPA技術発表会

平成6年10月6日(木)～7日(金)

東京・明治記念会館

平成6年度第2回ORセミナー「モダンヒューリスティクス」

平成6年9月5日(月)

東京ガス(株)本社

第209回講習会「設計リエンジニアリングの鍵を握るPDMシステムの実用事例」

平成6年10月28日(金)

東京・総評会館

<国際会議>

SIGIR 95 — 18th Int'l Conf. on Research and Development in Information Retrieval

1995年7月9日～13日

Seattle, WA, USA

1995年光メモリ国際シンポジウム

1995年8月30日(水)～9月1日(金)

金沢市文化ホール

ACCV'95 — 第2回コンピュータビジョン会議

1995年12月5日～8日

シンガポール

*詳細は本号会議案内欄参照

雑 報

○平成7年度EAGL協力研究者募集

EAGL事業推進機構は、高度ソフトウェア技術および関連する科学技術の分野の研究に対する研究助成を主な目的として、平成3年7月に発足し、活動しています。当機構の趣旨に賛同し、当機構の求める研究テーマに関わる研究開発を行う大学の研究者を募集します。ご希望の方は詳細を下記までお問い合わせの上ご応募ください。

応募締切 平成6年10月31日

問合せ先 〒525-77 草津市野路町1916 立命館大学メディアセンター内 EAGL事業推進機構事務局
Tel.(0775)66-1111(ext.7221) Fax.(0775)61-2633 e-mail: eagl@bkc.ritsume.ac.jp

○平成6年度東レ科学技術賞／科学技術研究助成候補者推薦

技術賞 学術上の業績顕著なもの、重要な発見・発明、技術上の重要問題を解決したものについて表彰する。

研究助成 今後の成果が科学技術の発展に多大な貢献をすると考えられる独創的、萌芽的研究に従事する研究者。

推薦締切 平成6年9月15日(学会)

問合せ先 〒279 浦安市美浜1-8-1 東レビル (財)東レ科学振興会 Tel.(0473)50-6103 Fax.(0473)50-6082

○平成6年度島津賞候補者推薦

科学計測およびその周辺の領域の基礎研究において、近年著しい成果をあげた功労者を対象とします。

推薦締切 平成6年9月15日(学会)

問合せ先 〒604 京都市中京区西ノ京下合町11(財)島津科学技術振興財団 Tel.& Fax.(075)823-3240

○平成6年度SCAT研究助成の公募

電気通信技術分野での独創的研究活動の支援、若手研究者の研究支援をするため、研究費助成(9月1日～10月31日)、研究奨励金(10月1日～11月30日)、国際会議助成(9月1日～11月30日)を公募します。

問合せ先 〒160 東京都新宿区新宿1-20-2 小池ビル(財)テレコム先端技術研究支援センター
Tel.(03)3351-8154 Fax.(03)3351-1624

研究者・技術者のための
コンベンション関係者のための

学協会集会スケジュール

社団法人 日本工学会編

年6回発行 A4判 約80ページ／回

- | | |
|----|---|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●開催年月日、主催学協会名、集会名、開催場所、主催・共催・後援学協会名および連絡先を掲載 ●最新情報を毎回追加収録 ●過去の集会の問い合わせに回答(ただし1993年分から) |
| 特色 | <ul style="list-style-type: none"> ●理工学系学協会の学術・研究集会が一目で分かる ●専門分野以外の集会を知ることができる ●他学協会との開催時期・開催地の重複が避けられる ●学術情報センターの集会スケジュールのデータベースが利用できる |

購読料 年間購読料(送料共)24,000円(消費税別)

申込月から1年間とします

フロッピー ご希望の方に集会スケジュールのデータを入力してあるフロッピーを頒布しております
頒布料 6,000円(消費税別)

申込・照会 〒107 東京都港区赤坂9-6-41 社団法人 日本工学会
Tel.(03)3475-4621 Fax.(03)3403-1738

論文誌のご購読について

「情報処理学会論文誌」は、会員の研究成果の発表およびこれに関連する討論の場を提供するために月刊で発行されている学術刊行物です。

記事種目は、論文、テクニカルノート、誌上討論の3種類で、記事件数は毎号20件程度、掲載頁数は毎号200頁程度です。

内容は以下のとおりです。

・論文（英文論文を含む）

学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値あるもの。

・テクニカルノート

新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。

・誌上討論

掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。

まだ購読されていない方は是非ご購入くださいますようお願いいたします。

新規に購読を希望される方は下記の申込書（コピー可）にて、お申込みください。

	会 員	非 会 員
論文誌年間購読費：	4,500 円	7,800 円

平成 年 月 日

論文誌購読申込書

◎ 氏 名 _____ 会員No. _____
・ 会員（正・学生・賛助） ・ 非会員

◎ 送付先 （会員の方は学会誌送付先と同じになります）

〒 _____

Tel. — — _____

◎ バックナンバ希望 _____ 年 _____ 月より（当該年度内で希望できます）
ただし、非会員の方は4月から翌年3月までの購読となります。

◎ 送金方法 （該当に○を付けてください）

a. 現金持参

b. 現金書留

c. 郵便振替 00150-4-83484

d. 銀行振込 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通預金 1013945

三菱銀行虎ノ門公務部 普通預金 0000608

名義人 社団法人 情報処理学会

◎ 送金年月日 ： 平成 年 月 日

◎ その他事務局への連絡事項

学会事務局（本部）の移転について

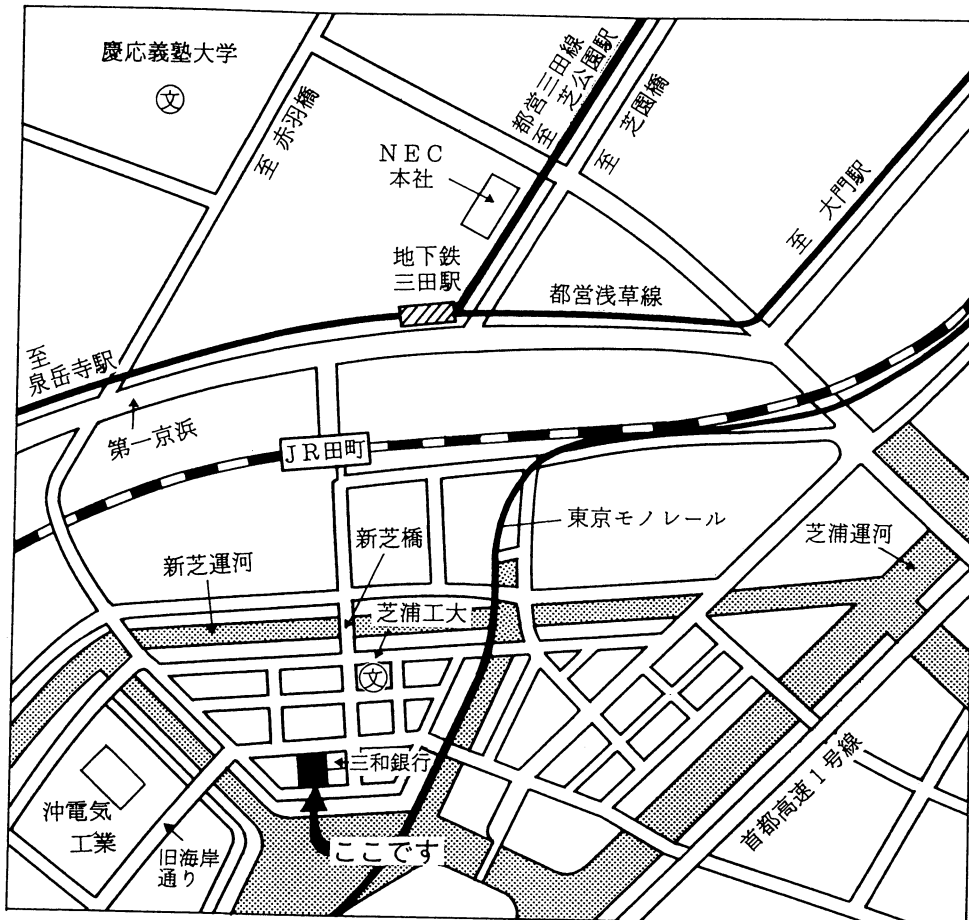
会員の皆さま方の学会活動への深いご理解とご支援を得て、当学会は活動を活発に行ってきましたが、より健全なる学会活動を行うため、事務局本部（会員、編集、事業、研究会、国際、総務）を7月18日（月）から下記のとおり移転いたしましたのでご案内申し上げます。お近くにお立ち寄りの際は、ぜひとも学会事務局までお寄りください。

なお、情報規格調査会（規格部）は従来どおり機械振興会館にて業務を行っております。

記

1. 移 転 先 〒108 東京都港区芝浦三丁目16番20号 芝浦前川ビル7階
Tel. (03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534
2. 交 通 JR田町駅東口から徒歩5分、または地下鉄三田駅（都営三田線、浅草線）から徒歩7分（地図参照）
3. 会 議 室 新事務所は旧事務所の1.5倍の広さがあり、大きい会議室が確保でき、学会が行う大部分の行事がここで開催できます。
4. 郵便・銀行 郵便振替口座 00150-4-83484
銀行振込（いずれも普通預金口座）
第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608
名義人 社団法人 情報処理学会

以 上



書評・ニュース募集のお知らせ

情報処理学会学会誌編集委員会では、学会誌「情報処理」に掲載する書評、およびニュースを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 つぎの2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評—過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) ニュース—情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格 原則として本学会員に限ります。

3. 応募の手続き 原稿は、本会所定の下稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に22字×44行の字詰めで書いて、応募先へてお送りください(電子メールの場合も同じ字詰め)。

- 1) 表題—書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
ニュースは、見出しを書く。書評、ニュースの別を左肩に書く。
- 2) 評者名・所属・評者連絡先(住所、Tel., e-mail 等)の記載を忘れずに。
- 3) 本文—書評は1900字前後で、ニュースは1000字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表を付ける。
- 5) 筆者の自己紹介、氏名、会員の種別、経歴などを書く。(投稿時に顔写真は不要)

詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1994年6月号掲載)を参照してください。

4. 原稿の取扱い 投稿された原稿は学会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。書評の場合は評者の顔写真を掲載しますので、掲載決定後に写真を送っていただくことになります。

5. 問合せ・応募先 原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および問合せ先は次のとおりです。

(社) 情報処理学会 書評係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: matumoto@ipsj.or.jp

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在59名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、紙面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会編集係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail: ishimaru@ipsj.or.jp

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱いますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金
行事次第書	国際会議，シンポジウム，講演会，講習会等の論文募集・参加案内に限る。	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 60,000 円
教官募集	学校またはその附属機関，公益法人，官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。	1 / 5 ページ	1 件あたり 20,000 円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。
なお，フロッピーディスクまたはe-mailでも受け付けますので，ご相談ください。

4. 申込期限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください。

6. 掲載申込先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7階
(社) 情報処理学会 有料会告係
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

IPSJ KAIKOU

支部だより

北陸支部 講演会

日時、場所 平成6年8月25日(木) 16:00～17:30 福井厚生年金会館
演 題 未来の電子図書館の姿 長尾 真 氏(京都大学教授)
参 加 費 無料(参加資格は問いません)
問合せ先 〒930 富山市五福 3190 富山大学工学部 電子情報工学科内 情報処理学会北陸支部事務局
Tel.(0764)41-1271(ext.2707) または、
〒916 鯖江市下司町 福井工業高専 守森 稔 Tel.(0778)62-1111
共 催 高等専門学校協会連合会高等専門学校情報処理教育委員会、電子情報通信学会北陸支部および
情報処理学会北陸支部

日時、場所 平成6年9月12日(金) 15:30～17:00 ラポート兼六(金沢市兼六町2-5)
演 題 マルチメディアの現状と将来 荒川 弘熙 氏(NTTデータ通信(株)技術開発本部
マルチメディア技術センタ所長)
参 加 費 無料(参加資格は問いません)
問合せ先 〒930 富山市五福 3190 富山大学工学部 電子情報工学科内 情報処理学会北陸支部事務局
Tel.(0764)41-1271(ext.2707) または、
〒920 金沢市彦三町 2-9-1 NTTデータ通信(株)北陸支社 Tel.(0762)24-3410

関西支部 平成6年度 第1回見学会開催のご案内

日 時 平成6年9月16日(金) 15:00～17:00
見学場所 (財)イメージ情報科学研究所(〒565 豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル内)
Tel.(06)347-0641(北区堂島 事務局)
集 合 15:00 千里ライフサイエンスセンタービル 1階玄関付近
参 加 費 無 料
定 員 20名 定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
申込方法 ①所属機関名②部課、役職名③氏名④連絡先 Tel.と Fax.をお書きの上、Fax.にて情報処理学会関西支部事務局までお申込み下さい。受付番号を通知しますので、Fax.送信後は電話で着信をご確認下さい。
問合せ/ 〒530 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 情報処理学会関西支部(担当:桑原)
申込み (財)関西情報センター 気付 Tel.(06)346-2543 Fax.(06)346-2443

セミナー「KL1 言語と並列プログラミング(実習付)ー第五世代コンピュータ術のエッセンスを公開するー」

期日、会場 平成6年9月26日(月)～27日(火) 神戸大学工学部システム棟 LR209 教室(神戸市灘区六甲台町1)
プログラム 26日(月) 13:30～17:00 27日(火) 9:30～12:30
・並列論理型言語 KL1 の考え方と言語仕様の概要
・プロセスネットワークの組み方(+実習)
・KL1 の基本的なプログラム技法
・計算の進行の制御(優先度の使い方)(+実習)
・KL1C システムの利用法(+実習)
・総合実習
講 師 近山 隆((財)新世代コンピュータ技術開発機構 研究所) 他
定 員 40名(先着順) 参加費 無料
問合せ先 〒530 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 関西情報センター内 情報処理学会関西支部
Tel.(06)346-2543
主 催 情報処理学会関西支部、(財)新世代コンピュータ技術開発機構 共催

教官募集



○島根大学理学部情報科学科

募集人員 ①教授 1 名, 助教授 2 名
 ②教授 4 名
 専門分野 ①ハードまたはソフトウェア工学 (教授), 数値解析, 情報数学 (助教授)
 ②知能情報, 計算工学, ハードまたはソフトウェア工学
 応募資格 研究分野不問, 着任後計算機科学の教育・研究に専念し学位を有する方
 着任時期 ①平成 7 年 4 月 1 日
 ②平成 8 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷, 今までの研究・業績の概要, 推薦書 (2 名)
 応募締切 平成 6 年 8 月 31 日
 送付先 〒 690 松江市西川津町 1060 島根大学理学部情報科学科 榎野 尚 「教官応募書類在中」と朱書き書留
 Tel.(0852)32-6470 Fax.(0852)32-6489

○青山学院大学理工学部機械工学科

募集人員 教授または助教授, あわせて 3 名
 担当科目 工業力学, 機械力学, 流体力学, 熱力学, 創造工学, 計算機基礎教育 (以上, 必修科目), 応用数学, 塑性工学, 運輸機械, 熱原動機等 (以上, 選択必修科目) のいくつか
 専門分野 熱力学, 流体力学, 材料力学, 機械力学, 計測・制御のいずれかに関連する分野, コンピュータ応用, システム統合にも指導力をもつことが望ましい
 応募資格 博士号取得者で, キリスト教に理解のある 50 歳程度までの方
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 今までの研究・教育経過概要及び今後の研究・教育ビジョン (担当希望科目を入れること) (各 1500 字程度), 主要論文別刷 (3 編, コピー可)
 応募締切 平成 6 年 8 月 31 日
 送付先 〒 157 東京都世田谷区千歳台 6-16-1 青山学院大学理工学部機械工学科主任 竹本幹男 「教員応募」と朱書き書留 Tel.(03)5384-1111 (ext.3301) Fax.(03)5384-6300
 その他 勤務地 世田谷キャンパス, 但し厚木キャンパスにも出講可能なこと

○三重大学教育学部情報教育課程

募集人員 教授 1 名
 担当科目 情報化社会論, 情報管理論, 数量化理論, 行動科学の方法, その他主に社会情報コース関係科目
 応募資格 博士号取得者またはこれと同等以上の業績を有する採用時 50 ~ 60 歳位までの方
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 お問合せ下さい
 応募締切 平成 6 年 9 月 30 日
 問合せ先 〒 514 津市上浜町 1515 三重大学教育学部情報教育課程 田中啓勝
 Tel.(0592)31-9308 または 32-1211(ext.3425, 3445) e-mail:htanaka@edu.mie-u.ac.jp

○専修大学経営学部

募集人員 助教授または講師 1 名（業績により決定）
担当科目 専門教育の電子計算機実習及びプログラミング言語 II（アセンブラ）
応募資格 博士後期課程修了者か単位取得者、またはこれに準ずる 40 歳以下の方
着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書、研究業績リスト（以上書式あり、ご請求下さい）、外国で学位を取得した場合は、その証明、主要著書論文の現物（2～3 点）、健康診断書（面接者のみ）
応募締切 平成 6 年 9 月 30 日
問合せ先 〒 214 川崎市多摩区東三田 2-1-1 専修大学学長室学務課教員任用係 Tel.(044)911-1253

○湘南工科大学情報工学科

募集人員 教授 1 名
担当科目 計算機関連科目、情報工学実験、情報工学演習、その他関連科目
専門分野 情報工学、計算機工学、情報処理またはその関連分野
応募資格 博士号取得者で大学院博士課程での指導が可能な 60 歳前後までの方
着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、今後の研究計画及び教育に対する抱負、推薦書または本人に関する所見を求め得る方の氏名・連絡先（2 名）
応募締切 平成 6 年 9 月 30 日
送付先 〒 251 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 湘南工科大学事務局庶務課 「情報工学科教員応募書類」と朱書き書留
問合せ先 庶務課長または情報工学科長 杉山 宏 Tel.(0466)34-4111

○長野大学産業社会学部

募集人員 教授 1 名
担当科目 情報処理基礎、情報処理基礎演習及び演習
応募資格 大学院修士課程修了者またはこれと同等以上の研究業績を有し、経営情報系の演習（ゼミナール）を担当できる来年 3 月末現在 60 歳以上の方（原則として上田市またはその周辺に居住できる方）
着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要著書・論文のコピー、最終学校の卒業証明書または修了証明書、健康診断書
応募締切 平成 6 年 10 月 7 日
送付先 〒 386-12 上田市下之郷 長野大学産業社会学部長 安井幸次 「応募担当科目名」を朱書き書留
Tel.(0268)39-0001
問合せ先 教務課長代理 西沢 弘 Tel.(0268)38-2350 Fax.(0268)38-5887

○九州工業大学情報工学部知能情報工学教室

募集人員 助教授 1 名
所属 応用数学共通講座
専門分野 応用数学、数理工学、情報数理のいずれか
応募資格 博士号取得者（含、見込）で数学関係の基礎教育と情報数理関係の専門教育の両方を担当できる 35 歳以下の方
着任時期 平成 7 年 4 月（予定）
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、研究概要、研究・教育に対する抱負
応募締切 平成 6 年 10 月 15 日
送付先 〒 820 飯塚市川津 680-4 九州工業大学情報工学部知能情報工学教室 馬被健次郎
問合せ先 Tel.(0948)29-7611 e-mail:maginu@donald.ai.kyutech.ac.jp

○滋賀大学経済学部情報管理学科

募集人員 助手または講師 1 名
 所 属 情報基礎講座
 担当科目 ソフトウェアの設計と開発法
 応募資格 博士課程修了者（含，在籍者）またはこれと同等以上の能力・実績を有する 30 歳以下の方
 着任時期 決定後なるべく早い時期
 提出書類 履歴書，研究業績リスト（書式あり，ご請求下さい），主要業績の現物かコピー，研究歴概要（800 字以内）
 応募締切 平成 6 年 10 月 28 日
 送 付 先 〒 522 彦根市馬場 1-1-1 滋賀大学経済学部庶務係「情報基礎教官応募書類在中」と朱書し書留
 問合せ先 Tel.(0749)27-1030

○神奈川工科大学情報工学科

募集人員 教授 1 名
 専門分野 情報システム，システム工学，O R，A I
 応募資格 博士号取得者
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，論文別刷（各 1 部）
 応募締切 平成 6 年 10 月 31 日
 送 付 先 〒 243-02 厚木市下荻野 1030 神奈川工科大学情報工学科 石井博章
 問合せ先 Tel.(0462)41-1211 Fax.(0462)42-8490

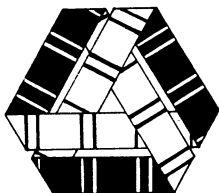
○小樽商科大学商学部社会情報学科

募集人員 助教授または講師 1 名
 担当科目 行政情報論
 所 属 組織と情報講座
 応募資格 博士課程修了者（含，見込）またはそれと同等以上の研究業績のある着任時 35 歳以下の方（非営利組織のマネジメント及び情報システムの教育も可能な方が望ましい）
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書，研究業績リスト（以上，書式あり，ご請求ください），業績等の資料，今後の研究計画書（2000 字程度），学部及び大学院の成績，卒業及び修了証明書（博士課程修了見込者は，修了見込証明書）
 応募締切 平成 6 年 11 月 7 日
 送 付 先 〒 047 小樽市緑 3-5-21 小樽商科大学長 「行政情報論担当教官応募書類」と朱書し書留
 問合せ先 庶務課人事係 Tel.(0134)23-1101 (ext.505)

○広島工業大学工学部経営工学科

募集人員 助教授または講師 2 名
 専門分野 情報科学・工学，品質管理・信頼性工学，数理工学，人間工学，経済性工学・会計管理等のいずれかの分野
 応募資格 博士号取得者（含，見込）で専門分野に業績のある 40 歳未満の方
 着任時期 平成 7 年 4 月 1 日～8 年 4 月 1 日までの適当な時期
 提出書類 履歴書，研究業績リスト，主要論文別刷（コピー可）
 応募締切 平成 6 年 12 月 20 日
 送 付 先 〒 731-51 広島市佐伯区三宅 2-1-1 広島工業大学事務局長 秋山信行
 問合せ先 経営工学科主任教授 久保田洋志 Tel.(0829)21-3121 (ext.486) Fax.(0829)23-4190

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（*：本年既掲載分，**：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1.開催日 2.会場 3.問合せ先 4.その他

国際会議

INTERACT '95-IFIP TC13 5th Int'l. Conf. on Human-Computer Interaction (045)

1. June 27-29, 1995
2. Lillehammer, Norway
3. INTERACT '95 Norwegian Computer Society, P.O. Box 6714 Rodelokka, N-0503 Oslo, Norway
Tel. +47 22 37 02 13 Fax. +47 22 35 46 69
e-mail: firmapost@dnd.msmailex.telemax.no
4. Deadline for submission of Papers: November 1, 1994

The European Design and Test conf. 1995 (*041)

1. 1995 年 3 月 6 日～9 日
2. CNIT 会議・展示センター（フランス、パリ市）
3. 日本電気(株)半導体事業グループ 柳川 隆之
Tel. (044)435-1409 Fax. (044)435-1870

Intellectual Facilitation of Creative Activities (046)

1. 1994 年 11 月 14 日(月)～15 日(火)
2. メルパルク T O K Y O（東京都港区芝）
3. 主催：科学技術庁
問合せ先：日本コンベンションサービス(株) (J C S)
Tel. (03)3508-1213 Fax. (03)3508-0820
4. 事前申し込み要

SIGIR 95-18th Int'l. conf. on Research and Development in Information Retrieval (047)

1. July 9-13, 1995
2. The Sheraton, Seattle, WA, USA
3. N T T 情報通信網研究所 データベース研究部 映像データベース研究グループ 木本 晴夫
Tel. (0468)59-3387 Fax. (0468)55-1152

1995 年光メモリ国際シンポジウム (048)

1. 1995 年 8 月 30 日(水)～9 月 1 日(金)
2. 金沢市文化ホール（金沢市高岡町）
3. (財)日本学会事務センター 学術講演会開催業務部
Tel. (03)5814-5800 Fax. (03)5814-5823
4. 投稿論文締切：1995 年 3 月 15 日

第 2 回コンピュータビジョンアジア会議 (049)

1. 1995 年 12 月 5 日～8 日
2. シンガポール
3. 東京大学工学部計数工学科 ACCV '95 国際組織委員
杉原 厚吉
Tel. (03)3812-2111(ext.6905) Fax. (03)3816-7805

国内会議

平成 6 年度第 III 期教育講座「LSI・CAD コース」

1. 平成 6 年 9 月 13 日(火)～11 月 1 日(火) 計 8 回
2. K S P（川崎市高津区坂戸）
3. (財)神奈川科学技術アカデミー 教育部教育研修科
Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2026
4. 募集締切：8 月 30 日(火)

平成 6 年度第 III 期教育講座「知的財産を生かすマネジメントコース」

1. 平成 6 年 9 月 14 日(水)～11 月 9 日(水)
2. K S P（川崎市高津区坂戸）
3. (財)神奈川科学技術アカデミー 教育部教育研修科
Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2026
4. 募集締切：8 月 30 日(火)

高専情報処理教育研究委員会第 14 回研究発表会

1. 平成 6 年 8 月 25 日(木)
2. 福井厚生年金会館（福井市手寄）
3. 沼津工業高等専門学校 情報処理教育センター
Tel. (0559)21-2700 Fax. (0559)26-5871

INE '94「OS I 相互接続実験 '94」

1. 平成 6 年 9 月 26 日(月)～29 日(木)
2. データショウ '94 会場（東京国際見本市会場）
3. (財)情報処理相互運用技術協会
Tel. (03)3358-2721 Fax. (03)3358-4753

システム制御情報イブニングスクールチュートリアル講座「線形システム理論入門」

1. 1994 年 9 月 6 日(火), 9 日(金), 13 日(火), 16 日(金), 20 日(火)
2. 大阪府立労働センター（大阪市中央区北浜東）
3. システム制御情報学会 イブニングスクール係
Tel. (075)751-6413 Fax. (075)751-6037
4. 聴講料：会員 30,000 円, 学生 20,000 円, 非会員 40,000 円

セミナー「人工生命／遺伝的アルゴリズム／ニューラルネットとは何か？その本質に迫る！」

- 1.2. 大阪：1994 年 9 月 29 日(木)～30 日(金)
三田出版会大阪事務所（大阪市北区中崎西）
東京：1994 年 10 月 4 日(火)～5 日(水)
三田ホール（千代田区神田駿河台）
3. システム制御情報学会 セミナー係
Tel. (075)751-6413 Fax. (075)751-6037
4. 参加費：会員 35,000 円, 学生 15,000 円, 非会員 50,000 円

システム制御情報チュートリアル講座 '94「プラクティカル制御系設計法—先端理論と実際を結ぶもの—」

- 1.2. 大阪：1994 年 11 月 24 日(木)～25 日(金)
三田出版会大阪事務所（大阪市北区中崎西）
東京：1994 年 12 月 8 日(木)～9 日(金)

- 三田ホール（千代田区神田駿河台）
 3. システム制御情報学会 チュートリアル講座係
 Tel.(075)751-6413 Fax.(075)751-6037
 4. 聴講料：会員 35,000 円、学生 15,000 円、非会員 50,000 円

第 26 回人工知能セミナー「AI を用いたリエンジニアリングの実際」

1. 1994 年 9 月 13 日 (火)
2. 日本電気(株)中央研究所（川崎市宮前区宮崎）
3. (社)人工知能学会事務局
Tel.(03)5261-3401 Fax.(03)5261-3402
4. 参加費：会員 18,000 円、非会員 30,000 円、学生 6,000 円

セミナー「ミクロな構造の計測と検査」

1. 平成 6 年 11 月 18 日 (金)
2. 千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市新千里東町）
3. センシング技術応用研究会
Tel.(06)443-1121 Fax.(06)443-3137
4. 参加費：会員 15,000 円、一般 18,000 円、学生 10,000 円

第 15 回バイオメカニズム学術講演会

1. 1994 年 10 月 31 日 (月)～11 月 1 日 (火)
2. 科学技術庁研究交流センター（茨城県つくば市）
3. 工業技術院生命工学工業技術研究所 人間情報部
生理情報研究室 学術講演会事務局
Tel.(0298)54-6740,6741 Fax.(0298)54-6752

第 17 回情報理論とその応用シンポジウム

1. 平成 6 年 12 月 6 日 (火)～9 日 (金)
2. 広島ロイヤルワシントンホテル（広島市中区田中町）
3. 主催：情報理論とその応用学会

問合せ先：広島大学工学部第二類（電気系）電子回路工学
 研究室内 シンポジウム実行委員会事務局
 Tel.(0824)24-7676 Fax.(0824)22-7195
 e-mail:sila94-secretary@ecs.hiroshima-u.ac.jp

第 13 回 IPA 技術発表会

1. 平成 6 年 10 月 6 日 (木)～7 日 (金)
2. 明治記念館（東京都港区元赤坂）
3. 情報処理振興事業協会 技術センター 企画室
Tel.(03)3437-2301 Fax.(03)3437-9421

平成 6 年度第 2 回 OR セミナー「モダンヒューリスティックス」

1. 平成 6 年 9 月 5 日 (月)
2. 東京ガス本社（港区海岸）
3. (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
Tel.(03)3815-3351 Fax.(03)3815-3352
4. 参加費：正会員 22,000 円、学生会員 5,000 円、
非会員 30,000 円

第 209 回講習会「設計リエンジニアリングの鍵を握る PDM（製品データ管理）システムの実用事例」

1. 平成 6 年 10 月 28 日 (金)
2. 総評会館（東京都千代田区神田駿河台）
3. (社)精密工学会
Tel.(03)3362-1979 Fax.(03)3367-0994
4. 参加費：会員 28,000 円、非会員 42,000 円、学生会員無料

編集室



事務局だより

今年は梅雨明けも早く、日中の猛暑に加えて熱帯夜の日々が続いており、体調を維持するのが大変ですが、事務局職員は普段の節制が良いのか、引越越し疲れも見せずに全員元気に仕事に励んでおります。

学会事務局の移転については、数回にわたり会告でお知らせいたしましたので、ご承知のことと思いますが、7 月 18 日（月）から新事務所をオープンいたしましたので、メールアドレス、電話番号、FAX 番号を更新していただきますようお願いいたします。

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7 階
 社団法人 情報処理学会
 Tel.(03)5484-3535
 Fax.(03)5484-3534

新事務所は JR 田町駅東口から徒歩 5 分にあり、環境も芝浦工業大学、いくつかの大手コンピュータメーカの事業所があるなど、東京都内では良いほうと思われます。また、事務所内に教室形式なら 90 名程度収容できる会議室を設けましたので、会議の開催も増加し事務局に顔を見せてくださる会員の方が増え、職員との親密感が高まり、学会のためにも良い影響があるのでと期待しております。

これから夏本番、会員の皆さま方にはご健康で夏をエンジョイされますようお願いしております。 (1994.7.20 飯塚浩司)

会員の声

・6 月号の最前線「宇宙機搭載用フォールトトレラントコンピュータ」は、とっつきにくかったが、向井さんのスペースシャトル打上げで、何か夢が出てきたので良い記事だと思う。

(吉野克之／(株)日立製作所)

・学会事務局の移転先は、私が子供の頃住んでいた場所のすぐそばのようです。ある意味では懐かしいところですが、逆に予ってみて昔の面影がまったくないと「故郷喪失」といった感じがするものです。不況にともなって 1 年足らずで再移転という例が多数ありますが、「桐一葉落ちて天下の秋を知る」でなければ幸いです。

(匿名希望)

平成6年度役員

会 長	水野 幸男				
副 会 長	平栗 俊男	長尾 真			
先任理事	雨宮 真人	安西祐一郎	河岡 司		
	久保 隆重	鈴枝 進	山本 昌弘		
	弓場 敏嗣	米田 英一			
後任理事	荒川 弘熙	池田 克夫	池田 俊明		
	岩野 和生	浦野 義頼	寛 捷彦		
	川田 圭一	村岡 洋一	森田 修三		
監 事	高橋 延匡	発田 弘			
支 部 長	松本吉弘 (関西), 九岡 章 (東北)				
	安西弘幸 (九州), 三宅康二 (東海)				
	宮本衛市 (北海道), 阿江 忠 (中国)				
	楠瀬昌彦 (四国), 米田政明 (北陸)				

(実務者向け分野)

市川 照久	菅野 政孝	川上 英
青沼 充	穴南 武士	石丸 知之
稲葉慶一郎	圓丸 哲朗	大橋 康
笠野 章	岸本 静枝	佐藤 和夫
佐藤 良治	篠原 健	諏訪 泉
高木 正博	高橋 富夫	藤井 和彰
吉光 宏		

(文献ニュース分野) (*地方在住委員)

内平 直志	小倉 敏彦	合田 憲人
赤津 雅晴	荒木 大	浦本 直彦
榎本 暢芳	小川 知也	甲斐 宗徳
糸野 文洋	田中みどり	谷 聖一
堤 富士雄	坪井 俊明	中島 巳範
野村 真吾	平澤 茂樹	広田源太郎
堀川 隆	味園 真司	宮内 美樹
山崎 浩一	渡辺 美樹	*佐伯 慎一
*志沢 雅彦	*竹澤 寿幸	*藤井 茂樹
*村上 昌己	*山田 武士	*横尾 真

学会誌編集委員会

委 員 長	弓場 敏嗣				
副委員長	川田 圭一				
委 員	(基礎・理論分野)				
	井宮 淳	島津 明	安倍 直樹		
	伊藤 秀昭	岩崎 一彦	大野 和彦		
	梶原 信樹	菊地 誠	木下 聡		
	栗田多喜夫	小池 英樹	斎藤 博昭		
	塩谷 勇	武田 浩一	東条 敏		
	中野 浩嗣	藤岡 淳	牧野 光則		
	村上 昌己	安川 秀樹	吉田 幸二		
	(ソフトウェア分野)				
	深澤 良彰	石川 博	荒野 高志		
	飯島 正	乾 伸雄	岩崎 英哉		
	大澤 暁	落合 民哉	甲斐 宗徳		
	掛下 哲郎	岸 知二	北川 博之		
	木谷 強	佐藤 令子	高野 陽介		
	寺田 実	中澤 修	中島 毅		
	端山 毅	本多 弘樹	増井 俊之		
	宮崎 聡	森下 真一	脇田 建		
	(ハードウェア分野)				
	西田 健次	速水 治夫	伊藤 徳義		
	今井 明	岩田 彰	浦中 洋		
	柏山 正守	加藤 聡彦	北嶋 弘行		
	小池 汎平	郡 光則	清水 茂則		
	清水 俊幸	瀧 和男	中村 宏		
	平岡 孝	平田 圭二	不破 泰		
	松永 裕介	蓑原 隆	村上 和彰		
	山内 宗	山崎 憲一			
	(アプリケーション分野)				
	岡田 謙一	江原 暉将	五十嵐 智		
	大山 敬三	岡田 守	喜多 泰代		
	工藤 育男	澤井 秀文	菅原 研次		
	宝木 和夫	田中 厚	茶園 利昭		
	辻 秀一	平賀 譲	深海 悟		
	水谷 博之	三好 和憲	森田 啓義		
	山崎重一郎	吉野 利明	米田 健		
	渡辺 澄夫				

論文誌編集委員会

委 員 長	雨宮 真人				
副委員長	池田 克夫	寛 捷彦			
委 員	(基礎グループ)				
	吉原 郁夫	久保田光一	稲垣 康善		
	今井 浩	岩間 一雄	翁長 健治		
	小柳 義夫	勝野 裕文	坂部 俊樹		
	佐々木建昭	佐藤 和洋	佐藤 雅彦		
	菅原 秀明	杉原 正顯	都倉 信樹		
	平田 富夫	三井 斌友	宮野 悟		
	(ソフトウェアグループ)				
	伊藤 潔	宮崎 収兄	井宮 淳		
	牛島 和夫	大須賀昭彦	大西 淳		
	上林 彌彦	清水 康	清水謙多郎		
	白井 良明	谷口 健一	谷口 秀夫		
	遠山 元道	徳永 健伸	鳥居 宏次		
	益田 隆司	宮本 衛市	吉田 敬一		
	(ハードウェアグループ)				
	山口 喜教	天野 英晴	阿江 忠		
	笠原 博徳	菅 隆志	木村 康則		
	佐藤 政生	島崎 真昭	高橋 直久		
	瀧 和男	田中 輝雄	田中 譲		
	富田 眞治	中田登志之	平木 敬		
	安浦 寛人				
	(アプリケーショングループ)				
	大岩 元	築山 俊史	石崎 俊		
	小嶋 弘行	白鳥 則郎	鈴木 健司		
	高橋 延匡	滝沢 誠	竹林 洋一		
	谷口倫一	鳥脇純一郎	中川 正樹		
	日高 達	松永 俊雄	山下 正秀		
	横井 茂樹				
	M.J. マクドナルド	F.M. キッシュ			

77°N 14°E
テクニカルライティング